

平成17年度 第2回 米子工業高等専門学校評議員会議事要旨

日 時 平成17年12月20日(火) 14時00分～16時00分

場 所 米子工業高等専門学校小会議室

出席者 委員： 金田 昭 副井 裕 藤田教正
森脇 孝 矢倉敏久 矢末 誠

本 校： 校 長 水島和夫 副 校 長 林 貞男
教務主事 小田耕平 学生主事 山藤良治 寮務主事 足立新治
事務部長 松本 勤
庶務課長 田中 巖 会計課長 阿部秀一 学生課長 渡邊正則

テーマ 「学生指導と課外活動」

1. 本校の現状説明

校長から、資料に基づき、本校の学生指導と課外活動に関するこれまでの取組みの現状と実績について説明があった。

2. 各委員からの質疑及び提言

(印：各委員， 印：本校)

< 学生指導について >

高専は5年間での学生指導を行うということで、非常に有効な学生指導が出来る制度であると思う。しかし対応する教員はそれだけに大変であり、その資質が問われると思う。

一度、ある授業を見学したが、教員は淡々と話をしているし、学生は隣の学生と話をしているし、また、よそ見をしている学生もいた。

学校として教員個々に対する指導はどのように行われているのか。

教員資質向上に関しては学校のFD活動として教員研修会を毎年行っており、今年度の場合は「授業の改善」というテーマで、ベテランの非常勤講師による授業の見学や授業の改善に関し実績のある他高専の教員による講演などの教員研修会を実施した。

また、3年前から入学してきた学生の学業分析を実施するなどし、教員の資質向上に努めている。

教員が淡々と話しをしているというのは、授業が一方通行的な講義形式になっているのではとの意見ではと思うが、高学年の場合には専門教科が多く講義的な形式になる場合がある。

低学年については、一般教科が多いため授業形式をとり一方通行的にはなっていないと思っている。

なお、学生による授業評価として、各授業に対しアンケート調査を実施している。公表はしていないが評価の良くない教員に対しては、副校長及び教務主事から個々に指導を行っている。

研修のための公開授業は行っているのか。

行っている。

社会で役立つ卒業生を送り出すため、教員のより一層の資質向上に努力願いたい。

米子高専全体としての人間形成教育の教育的理念はあるのか。

お手持ちの学生便覧の中に、教育理念に基づき養成すべき人材として4項目を掲げているが、今年から5「幅広い工学知識を複合させ、活用できる人材」を付け加え5項目とした。

また、学生に以下の能力が身につくよう教育を行うための学習・教育目標を定めた。

これは、学生諸君にも覚えてもらうよう玄関等いたるところに掲示している。

1. 技術者としての基礎力
2. 持てる知識を使う応用力
3. 社会と自らを高める発展力
4. 地球の一員としての倫理力
5. 社会とかかわるためのコミュニケーション力

最近若年層の事件が多発しているが、他の影響を受けやすい年頃の学生に対して、どのような指導をされているか。

問題等を起こした学生に対しての指導は、個々にしている。

一般の学生に対しては、例えば、タバコの喫煙については各HRで指導しており、

また、薬物等については、警察の方の講演会を実施し、学生への啓蒙を図った。
なお、性感染症等については、学校医から指導いただいている。

現状説明の中で問題を起こした学生に対し、保護者召喚あるいは教員立会いによる作業とあるがそれは何か。

教員立会いの作業とは、教員と一緒に校舎周辺のゴミ拾い作業などしており、これも一つの指導と考えている。

ゴミを拾いながら学生と色々なコミュニケーションを図っている。

停学・退学はあるのか。

家庭謹慎・校内謹慎がある。

大学の場合、入ってみたものの目標を失う等の休学が多いと聞いているが、高専の場合はどうか。

本校の場合は、さほど多くはないが病気休学等がある。

大学の場合カンニングも非常に多いが、高専の場合はどうか。

あまりないが、あった場合は担任を経由して注意している。

< 課外活動について >

課外活動については、多彩な活動をしているが、デザインコンペティションにも参加してかなり活躍しておられる。ロボコン、プロコンはよく承知しているが、このデザコンは以前からあったものなのか。今後続くのであれば、三大コンテスト(ロボコン・プロコン・デザコン)として来年度から援助したい。

デザインコンペティションは、最初シンポジウム形式で3～4校で長期間実施していた。

全国大会形式となったのは昨年度からであり、建築学科の学生に対して非常に良い刺激になっている。

県の主催で発明工夫展を開催しているので、是非高専の学生にも参加していただきたい。

また、産業技術フェアにも参加していただきたい。

参加させるようにしたい。

指導方法が昔とは随分違うと感じる。

授業方法については、メリハリをつける等、学生に集中させる工夫が求められると思う。

部活動が盛んであるが、遠征費等試合には必ず顧問の教員が引率して行くと思うが手当等はどうか。ボランティアなのか。

また、野球部等の試合数が多いクラブ顧問教員への配慮はどうか。

手当を出している。

なお、土・日の試合の場合には振替えにより休日を取らせている。

また、野球部など試合数が多いクラブには顧問教員の人数を増やしてはいるが、教育研究・課外活動・地域社会貢献と多忙であり、個々の教員の献身的努力に頼っているのが実状である。

クラブ活動（特にロボコン等）で活躍すれば、それが売りになることがある。

<学寮について>

男子寮と女子寮の門限時間が違うのは何か意味があるのか。

また、もっと遅くして欲しいという要望はないのか。

男子寮の場合は従前からの時間であるが、女子寮の場合は、安全性を考慮し、また、保護者へのアンケート結果を考慮して、20時30分としている。

なお、特別外出許可制度を設けている。

入寮希望者は全員入寮できるのか。

今年度は需要が室数を上まわったため、初めて退寮してもらう場合があった。

違反点数制度とは、例えばどういうものか。

問題を起こした寮生に対して、違反点数として加算していき、10点を超えると退寮勧告するものである。

インターンシップ制度等で門限があるとやりにくいのでは。

特別なケースを除き、ほとんど門限以内である。

寮には教職員が何人が宿直しているのか。

教員が1名宿直している。

寮には夜食等を作る部屋はあるのか。

補食室が設置されており、ラーメン等が作れるようになっている。

寮の宿直について、外注（外部委託）は出来ないのか。

高専の場合は、大学と違い教育寮という性格を持つので外注にはなじみにくい。
また、保護者としては、15歳の子供を預けるということで、教員であれば安心ということもある。

寮生が直立不動の姿勢で大きい声を出し挨拶をしているので、大変気持ち良く感動したが、後から聞くと1年生だけと聞いた。

下級生が上級生に対して行うというのであれば、かえってマイナスのイメージである。

やはり学校教育としては、寮生のみではなく学校全体が挨拶をすると高専らしくて良いのではないか。

折角良い習慣があるので、より多くの学生に働きかけて良い方向に発展させていきたい。

確かに上級生が返礼をしないとの認識はある。寮生役員が率先して返礼するよう働きかけているところである。

また、寮生以外にも働きかけ、学校全体に広げたいと思う。

<留学生の受入について>

留学生の年齢は一定しているのか。

3年生と4年生に編入して来るが、20歳くらいからで年齢は異なっている。

留学生は夏休み帰国するのか。また、アルバイトなどを行っているのか。
地域との交流の機会が少ないし、ホームステイの募集はないのか。

入寮しているため外に出る機会が少なく、地域との交流が少なくなっている。
ほとんど帰国しないで寮に残留しており、たまに他高専の留学生の所へ旅行する者もいる。

留学生の人数がクラスで1人ないし2人と、限られているのはなぜか。

本校の申し合わせで、受入人数を各学科・各学年1名計15名までにしている。

私費の留学生はいないのか。

純然たる私費の留学生はいない。マレーシアからの留学生は政府派遣留学生で、
あとの留学生は国費留学生である。

日本語教育は受けているのか。
また、英語能力はどうか。

本校入学前に受けている。基本的には優秀である。
英語能力については、国によって様々である。

卒業後の進路は。

今はほとんどが大学進学である。
以前は就職した者もあり、ビクター等へ就職した例もある。

< 学生相談室 >

校舎内が改修され、ゆとりのある雰囲気となって、非常に環境面が良くなったと思うが、学生に対する効果はどうか。

計数的に調査したわけではないが、確かに環境的には良くなったと思う。
特に建築学科は何時も多くの学生がコラボゾーンに集まって勉強している。

人づき合いで悩んでいたりと、コミュニケーション能力の足りない子が増えている。それは家庭内において親子で話す時間が足りないのが原因らしいが、どこかの段階で早いうちに見つけ、適応力を高めていかないと精神的な面での問題であり、難しいと思う。

また、それを高専の教員に頼むということは非常に難しい面があると思うので、家庭との連携を強化する必要があるのではないかと。

大学でも同じような現象である。

教室には行かないが、保健室へなら行くことのできる学生もいる。

中学までは通学できたのに、通学できなくなった子供等の例もある。

メール相談が多いということだが。

学生相談室のメールアドレスを学生に知らせている。

また、直接顔を合わすことがないので、相談しやすいのではないかとと思われる。

<その他>

松江高専が行っている、オムニバスで行う地域産業論は著名人が講師として担当しており、毎日のように新聞に掲載されている、大変面白いと思うが。

松江高専の例は、現代 GP としての補助金が出ているためである。

現代 GP については、本校としても特色のある教育方法として様々な取組みを考え応募しているところである。

今後も努力していきたい。

今後、高専開発型人材育成事業などについても是非、トライしていただきたい。

平成17年度

米子工業高等専門学校評議員会資料

(第2回:学生指導と課外活動)

日時:平成17年12月20日 14:00～

場所:米子工業高等専門学校小会議室

目 次

| | | |
|----------|-------------------------------|----|
| 1 | 学生指導について | 1 |
| | (1) 学生指導の基本方針..... | 1 |
| | (2) 指導体制..... | 1 |
| | (3) 問題行動の現状と対応..... | 1 |
| 2 | 課外活動について | 2 |
| | (1) クラブ・同好会活動..... | 2 |
| | (2) 各種コンテスト・大会..... | 2 |
| | (3) 学生会活動の支援..... | 3 |
| | (4) 学生支援の財源等..... | 3 |
| | (5) 学校行事..... | 3 |
| 3 | 学生寮の運営指導 | 4 |
| | (1) 学生寮の目的..... | 4 |
| | (2) 寮生活指導の基本方針..... | 4 |
| | (3) 寮生活の指導体制..... | 4 |
| | (4) 寮の構成・施設設備..... | 4 |
| | (5) 寮生活..... | 5 |
| | (6) 寮の運営と指導..... | 6 |
| | (7) 寮生の問題行動と被害事件..... | 7 |
| | (8) 寮生会運営組織と日課・年間行事..... | 7 |
| | (9) 課題..... | 7 |
| 4 | 留学生受入れについて | 8 |
| | (1) 基本方針..... | 8 |
| | (2) 受入体制..... | 8 |
| | (3) 受入れの課題と対策..... | 9 |
| | (4) 受入れの現状と評価..... | 9 |
| 5 | 学生相談室について | 10 |
| | (1) 学生相談室の沿革..... | 10 |
| | (2) 学生相談室の現状..... | 10 |
| | (3) 学生相談室の課題..... | 10 |
| 6 | 参考資料 | 11 |
| | (1) 学生生活指導..... | 11 |
| | (2) 学生の懲戒処分及び指導措置に関する学則等..... | 11 |
| | (3) クラブ・同好会等一覧..... | 12 |
| | (4) 対外試合等参加一覧..... | 13 |
| | (5) 大会成績一覧..... | 17 |
| | (6) 学生会組織図..... | 22 |
| | (7) 学生支援関係予算..... | 23 |
| | (8) 年間行事予定表..... | 25 |
| | (9) 米子工業高等専門学校寄宿舎規則..... | 26 |
| | (10) 寮の部屋構成..... | 27 |
| | (11) 寮生数とその推移..... | 28 |
| | (12) 寮生会運営組織図..... | 29 |
| | (13) 日課表..... | 29 |
| | (14) 寮の主な年間行事..... | 30 |
| | (15) 留学生支援行事..... | 31 |
| | (16) 留学生の国別・学科別受入数..... | 31 |

1. 学生指導について

(1) 生活指導の基本方針

- ① 学生の自主性を尊重し、良識ある個人としての自覚を促しながら自立心を養わせる。
- ② 集団生活におけるルールの重要性を経験的、主体的に認識できる機会を設け、本校学生として守るべき心得・校則や社会のルールの趣旨・意義を理解させるとともに、ルールづくりに積極的に関与する態度の涵養や社会性の育成を図る。
- ③ 低学年と高学年との年齢格差に配慮し、低学年については地域社会や近隣の高校にも受け容れられるようなきめ細かい指導を行い、高学年については自律性の養成を図り責任ある行動ができるよう指導する。

(別添参考資料「6. (1) 学生生活指導」 p.11参照)

※ 留意点

- ① 卒業後の進路は企業等への就職が多く、本校が多くの学生にとって社会へ出る前の最終教育機関となる点に配慮し、学生として守るべき心得・校則の運用は、一般社会のルールと大きく隔たらないようにする。
- ② 形式的な指導や教員の一方的な押し付けにならないよう学生との対話を重視するとともに、その対話を通して学生のコミュニケーション力の育成に努める。
- ③ 教育機関としての特性や役割をふまえ、懲罰的措置を講ずる場合は教育的配慮を心がける。

(2) 指導体制

教員組織

- ① 学生部(学生主事及び学生主事補)
一般科目3名、機械工学科1名、電気情報工学科2名、電子制御工学科1名、建築学科1名の計8名の教員が、下記について分担している。
 - ・ 生活指導－学生事故、車両通学、女子学生指導、鳥取県西部地区指導部連盟等
 - ・ 課外活動－クラブ・同好会活動、学生会、ロボコン、プロコン、デザコン等
 - ・ 学校行事－高専祭(体育祭、文化祭)等
 - ・ 生活支援－各種奨学金、授業料免除等
- ② 学生委員会(学生部、各学年選出委員、学生課長)
- ③ クラス担任

事務組織 学生課長、学生係3名

(3) 問題行動の現状と対応

- ① 未成年の喫煙や校内での現金・物品の盗難、自転車の無断借用等の問題行動も発生しているが、発生件数は減少してきている。
問題が発生した場合、学生部を中心に状況を調査し、当該問題に関与した者について学生部会及び学生委員会において指導措置を審議・決定する。指導措置は、学生部及びクラス担任を中心に実施。
- ② 日常の学校生活においては問題のない学生が当事者であるケースも多い。また、問題行動の傾向としては、計画性はほとんどなく、稚拙で衝動的、軽率な場合が多い。倫理観の欠如や罪悪感の希薄さが特徴的である。
こうした状況を考慮し、事情・状況の聞き取りに当たっては、動機や当事者の心情を把握するように努めている。指導措置についても保護者召喚や(主事)説諭あるいは教員立会いによる作業等を含む校内謹慎を重視し、カウンセリング的な要素も含めた啓蒙的な助言・説得を心がけている。

(別添参考資料「6. (2) 学生の懲戒処分及び指導措置に関する学則等」 p.11参照)

2. 課外活動について

(1) クラブ・同好会活動

- ① クラブ(体育系－17, 文化系－6, 計23)と同好会(すべて文化系－10)に延べ705人の学生が所属し活動しており, 学生生活の充実と人間形成に重要な役割を果たしている。
- ② 対外的な交流として, 高等専門学校のほか高等学校, 大学, 社会人との公式試合, 練習試合があり, 参加大会数も多く, 活動時間は高校生や大学生に比べても少なくないと考えられる。
このうち, 中国地区高専体育大会は毎年各校持ち回りで, 夏季と冬季に分けて開催される。全国大会出場をかけての競技が展開されるが, スポーツを通じて各校, 学生同士の交歓の場となっている。
- ③ 各クラブ・同好会のリーダー(キャプテン, 上級生, マネージャー)を対象に, クラブ・同好会リーダー研修会を行っている。リーダーの在り方, トレーニング方法, 救急処置の方法等について, 校内外の講師による講演, 実技指導を実施し, リーダーの研修の場を設けている。
- ④ 指導・助言には, 指導教員(延べ78名)があたっている。技術的指導については, 学外コーチに依頼する体制がとられているが, 通常の練習に加え対外試合への引率など, クラブ・同好会指導は担当する教員にとってかなりの負担になっている。

(別添参考資料「6. (3)クラブ・同好会等一覧, (4)対外試合等参加一覧, (5)大会成績一覧」 p.12～21参照)

(2) 各種コンテスト・大会

高専生を対象としたロボットコンテスト, プログラミングコンテスト, デザインコンペティション, 鳥取県青少年アイデアコンテスト等の大会は年々活発になり, 社会的な注目度も高くなってきている。高校生, 大学生, 一般人を対象としたコンテスト・大会へも参加している。

- ① ロボットコンテスト
「全国高専アイデア対決ロボットコンテスト」(NHK主催)として, 毎年10月に全国大会の予選をかねた中国地区大会, 11月に全国大会が開催され, それぞれテレビ放映されている。本校は過去5回全国大会に出場し, 準優勝2回, 技術賞2回の成績を修めている。
- ② プログラミングコンテスト
高等専門学校連合会(国公立高専の連絡協議を諮る機関)が主催しほとんどの高専が参加する全国規模の大会で, コンピュータによるプログラミングの力量を, 課題, 自由, 競技の3部門に分かれて競い合うことを通じて, 情報処理技術の向上や教員・学生の交流が図られている。また, 大会開催に当たっては, 文部科学省はじめ情報関連分野の多くの企業, 学会等の後援も得, 高専生の若いエネルギーや柔軟な発想を広く産・官・学に紹介する場となっている。
第16回となる本年度の大会は, 本校を主管校にして10月9日・10日に米子コンベンションセンターで開催され, 全国から59高専, 海外からハノイ工科大学とモンゴル科学技術大学の計103チーム, 学生347名, 指導教員103名及び関係者を含めて500名強が参加して盛大に行われた。
- ③ デザインコンペティション
「全国高等専門学校デザインコンペティション」は, 1977(昭和52)年の米子, 明石両高専による建築教育の研究交流シンポジウムを前身とし, 1999(平成11)年には, 全国の高専に参加を呼びかける「全国高専建築シンポジウム」として設計競技も含む大会になった。昨年度からはデザイン領域を包括するコンペティション大会として, 構造デザイン, 環境デザイン, プロポーザルの3部門が実施されている。
本年度の「全国高専デザコン2005inAKASHI」には, 本校からは参加校中最多の9作品が予選を通過し, 本選発表を行い, 各部門で優秀な成績を修めた。

④ 鳥取県青少年アイデアコンテスト

平成9年度より毎年開催され、本校建築学科学生は2～5年生(現在は専攻科生も応募)のほとんどの学生が授業等で課題に取り組み応募し、毎年優秀な成績を修めている。このコンテストは最優秀賞に選ばれたアイデアを元に、実際に建物が建設されることが学生にとって大きな魅力であり、これまでに7回、本校学生の最優秀賞のアイデアが採用され、建造物となっている。また、建設に関わる打ち合わせや現場見学などにも学生が参加し、実践的学習にも大いに役立っている。

(別添参考資料「6. (5)大会成績一覧」 p.17～21参照)

(3) 学生会活動の支援

- ① 近年は優秀な学生が学生会役員を務め、学生部、学生係を中心とした教職員の指導・助言の下に活発に活動しており、学生会に相応しい活動ができています。
- ② 文化祭、体育祭、球技大会(年2回)等の学校行事を、学生会が自主的に企画・立案、運営しているほか、年間約600万円の学生会費についても予算作成、配分、執行等に当たっている。

(別添参考資料「6. (6)学生会組織図, (7)学生支援関係予算」 p.22～24参照)

(4) 学生支援の財源等

- ① 運営交付金のほかに、後援会費、米子高専振興協力会、学生会費から補助を受けている。
- ② クラブ・同好会活動 遠征費(交通費、宿泊費)大会運営分担金、協会加盟費等
- ③ 各種コンテスト・大会 作品製作費、遠征費(交通費、宿泊費)、大会運営分担金等
- ④ 学生会活動 文化祭、役員研修会参加費等

(別添参考資料「6. (7)学生支援関係予算」 p.23～24参照)

(5) 学校行事

- ① 健康の日
学校教育法等で義務づけられた健康診断や身体測定のほか、講演会等を行い、疾病の早期発見を期するとともに健康や保健衛生への意識高揚を図っている。
- ② 遠足
毎年、春季に実施し、各クラスごとに近隣の山野や名所旧跡等を訪ね、レクレーションを通じて教員と学生相互の親睦を図り、理解を深めることに役立っている。
- ③ 校内球技大会
春季、秋季の年2回実施する。クラスの選抜選手がクラス対抗で戦い、入賞と賞品をかけて競い合うが、教員チームも出場し、終日和やかな交歓試合が行われる。近年はドッチボールの試合も行い、多くの学生が参加できるよう配慮している。
- ④ 高専祭(体育の部)
入場行進にはじまり、クラス対抗、学科対抗のレースに各選手が運動技術と体力を競い合う。教員参加種目もあり、教員と学生相互の親睦にも役立っている。
- ⑤ 高専祭(文化の部)
11月の文化の日の前後に実施され、学生会にとっても学生にとっても最も大きな行事である。各学科の4年生が中心となる科展が工業高専らしい企画であるが、他学年のクラスでも独自の企画が行われ、クラスの団結、友達づくりのよい機会となっている。また、クラブ・同好会も日頃の活動成果を発表するほか、バザー、模擬店などを出している。

(別添参考資料「6. (8)年間行事表」 p.25参照)

3. 学生寮の運営指導

(1) 学生寮の目的

高専の学生寮は、「教育寮」と位置づけられており、「学生が、共同生活を通して他の学生との人間関係を大切にしながら、規律ある団体生活の中で自立心と協調性を養い、社会的視野の拡大などを通じて、自己の人間形成を行う教育の場」としている。

(別添参考資料「6. (9) 米子工業高等専門学校寄宿舎規則」 p.26参照)

(2) 寮生活指導の基本方針

寮に入寮する学生に対し、寄宿舎規則、寮生会規約、寮生手帳などに定める日課、規律等基本的ルールやマナーを遵守させ、相互の敬愛、自主・自立・自覚の精神を涵養し学寮が共同生活の場、交流の場、学習の場であることを認識させるとともに、心の触れ合う和やかな雰囲気作りに努めさせるようにしている。

(3) 寮生活の指導体制

寮務主事 : 1名 総括

寮務主事補: 8名

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 物質工学科教員1名 | 高砂寮1年生, 避難訓練, (高砂寮寮生会, 生活環境) |
| 一般科目教員1名 | 高砂寮4年生, 生活環境 |
| 一般科目教員1名 | 高砂寮3年生, 車両, 高砂トピックス |
| 電気情報工学科教員1名 | 高砂寮5年生, 当直・巡回割振り, 卒業文集 |
| 電子制御工学科教員1名 | 専攻科生, 留学生, 高砂寮寮生会, |
| 機械工学科教員1名 | 高砂寮2年生, 書記, 車両 役員研修会&報告書, ホームページ |
| 建築学科教員1名 | あさぎり寮, 白鳥寮寮生会, 役員研修会 |
| 一般科目教員1名 | ゆうぎり寮, 白鳥トピックス |

寮務係 : 係長1名, 係員1名

寮母 : 3名

(4) 寮の構成・施設設備

ア 構成・定員

| | | | | | |
|-----|-----|------------------|----|-----|-------|
| 男子寮 | 高砂寮 | 西寮(1年生+指導寮生) | 定員 | 99 | } 251 |
| | | 南寮(2~5年生) | 定員 | 137 | |
| | | 東寮(留学生+専攻科生) | 定員 | 15 | |
| 女子寮 | 白鳥寮 | あさぎり寮(3~5年生, 役員) | 定員 | 36 | } 86 |
| | | ゆうぎり寮(1~2年生, 役員) | 定員 | 47 | |

(別添参考資料「6. (10) 寮の部屋構成」 p.27参照)

イ 主な施設・設備

① 居室

畳ベッド, 学習机, 椅子, 本立て, ロッカー, 衣装ケースなど

- ② 男子寮
浴場, 休養室, 集会室, 補食室(各階), 洗面室, 洗濯室, 製図室
- ③ 留学生棟(東寮)
シャワー室, 談話室, 補食室, 洗面室
- ④ 女子寮
浴場, 休養室, 談話室, 作法室, 補食室, 洗濯室, 洗面室, 製図室
- ⑤ 共用施設 寮食堂, 自転車置場

ウ セキュリティシステム

寮生の安全確保の面から下記を設置するとともに改善整備に努めている。

- ① 男子寮 (ア) 火災警報システム, (イ) 防犯カメラシステム(各階), (ウ) 防犯灯
- ② 女子寮 (ア) 火災警報システム, (イ) 赤外線監視システム(外周), (ウ) 防犯灯
また, H16年度寮母の勤務見直しに伴い, 次のシステムを導入した。
(エ) 防犯カメラシステム(玄関), (オ) 指紋照合出入りシステム(玄関),
(カ) 玄関自動施錠システム(20:30~7:30)

(5)寮生活

ア 入退寮方針

- ① 本科1年生および編入生の入寮希望者は優先的に入寮させる。
- ② 年度末の継続入寮審査については次のとおりとする。
普段の生活状況および単発的な問題行動を点数化した『違反点数』により退寮順位を決定する。
- ③ 専攻科生は留学生が東寮の居室すべてを使用しない状況に限り, 東寮を使用することができる。この場合も, 1年生を優先する。ただし, 女子学生は認めない。
- ④ 寮生活になじめない学生(規律違反者, 共同生活に適さない者など)は, 入寮取り消し, 継続入寮不許可になる場合がある。

(別添参考資料「6. (11)寮生数とその推移」 p.28参照)

イ 諸経費

- ① 寄宿寮 700円(複数部屋, 個室は800円) / 月
- ② 管理費 4,600円 / 月
- ③ 食費 28,800円 / 月 (960円×30日の場合)
- ④ 暖房費 2,000円 / 月 (11月~2月)
- ⑤ 寮生会費 5,000円 / 年

ウ 病気等の対応

必要に応じ休養室を利用させる。

平日の急病は, 運転手, 担任, 寮務主事補, 寮務係が病院に付添搬送する。夜間休日は, 当直教員が対応する。インフルエンザなど法定伝染病は自宅療養等を義務づけている。

エ 家庭との連絡

- ① 連絡誌「高砂トピックス」「白鳥トピックス」を年3回発行(6月,12月,年度末)している。
- ② 学校の保護者懇談会に合わせ, 寮生保護者懇談会を実施(7月)している。
- ③ その他, 学年担当主事補が必要に応じ連絡している。

オ その他の生活

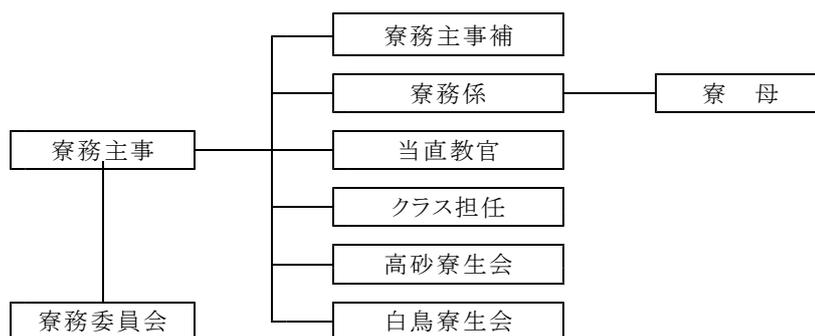
- ① 寮生活においては, 門限と点呼及び外泊の届けを遵守させている。

- i) 門限・点呼(男子寮 22時 , 女子寮 20時30分)
 - ii) 休日外泊 届出必要(男子:外泊簿に記入, 女子:外泊願の提出)
 - iii) 特別外泊(休日以外の外泊):特別外泊願
- ② 外来者の訪問についても時間を設定している。
 一般外来者:19時まで(許可が必要)
 本校学生 :男子寮:21時, 女子寮:19時まで
 (*異性の立ち入りは, 男子寮女子寮とも禁止)
- ③ 車両(2輪, 4輪)の持ち込みは禁止している。
 また, 日課を乱す行動やマナーに反する行動, 風紀上好ましくない行動(飲酒, 喫煙, 暴力, 麻雀, 窃盗, 異性立ち入り, 失火等)は当然禁止である。また, 物品についても制限している物がある。(冷暖房機器, 高ワット機器)

(6)寮の運営と指導

教員の指導の下に, 寮生の自治組織である「寮生会」による自主的な日常生活の運営を原則としている。‘寮生による寮運営’と‘教員による学寮指導’との調和を図る中で自主的・自立的な生活慣習を養うべく運営・指導を行う。

ア 運営組織



- ① 寮務主事
学寮の管理と寮生の集団生活・教育・保健等について指導助言を行い, 総括する。
- ② 寮務主事補
寮務主事を補佐し, 寮生会の指導や学年別担当寮生の生活指導等に当たる。
- ③ 寮務係
学寮の管理運営と寮生の生活指導について, 事務的業務に当たる。
- ④ 寮母
女子寮監守及び指導当直教員の補助として女子寮当直業務に当たる。
・平日:15時~21時, 休日:8時~10時及び15時~21時
- ⑤ 当直教員
教員の輪番によって, 夜間や休日において学寮の管理と寮生の指導に当たる。
- ⑥ クラス担任
クラスの寮生の入退寮の承認や指導助言に当たる。
- ⑦ 寮生会
日常の寮運営に当たるとともに, 各種寮行事を行う。
- ⑧ 寮務委員会
寮運営の基本方針・入退寮など寮運営の重要事項についての審議に当たる。

イ 運営指導方針

- ① 新入寮生(1年生)の円滑な寮生活順応を図る。
- ② 基本的な生活習慣の育成。
- ③ 寮の安全・生活環境の改善整備。
- ④ 寮生会を中心とする自主的な寮運営の態度を養う。
- ⑤ 巡回指導による秩序維持を行う。
- ⑥ 違反点数制度の導入による継続入寮審査方法(H17より)。

(7)寮生の問題行動と被害事件

ア 問題行動とその対応

中学校を卒業したばかりの新入生(15歳)から5年生(20歳)までと、平成16年からは専攻科生も入寮させている。多感な時期の学生が約300人弱生活しており、寮内において種々の問題行動の発生がある。

対応は、その予防と発生時における早い段階での対処に努めている。

学期初めの学年担当による全員面談、毎朝の巡回指導による問題行動の早期発見と対応に努め、その対応に当たっては、クラス担任、学科等と連絡・情報交換を取りながら行っている。また、H17年度から、健全な寮生活を目指すとともに健全な寮生が次年度への継続入寮審査時に不利益にならないよう‘違反点数制度’を導入した。

イ 被害事件

外部要因による被害事件も発生している。これに関しては、安全管理システムの改善・導入、警備の強化及び警察への巡回警備等の協力依頼を行うとともに、寮生に対する安全意識の高揚を図っている。

(8)寮生会運営組織と日課・年間行事

ア 運営組織と日課

男子寮と女子寮の寮生会は別組織としており、各寮が個別に運営している。ただし、共通する事項については共同して当たる。

また、日々の寮生活は日課表に基づいて行われている。

(別添参考資料「6. (12)寮生会運営組織図, (13)日課表」 p.29参照)

イ 主な年間行事

行事は、男女それぞれの寮生会が中心となり、また、必要に応じ男女寮の寮生会が共同で企画運営している。大きな行事として①総会、②寮祭、③役員研修会等がある。

(別添参考資料「6. (14)寮の主な年間行事」 p.30参照)

(9)課 題

ア 生活学習環境の面から、特に夏期の冷房導入と冬季暖房の改善など空調の改善導入を考えていく必要がある。また、ITを活用した学習支援として、寮内にLANの敷設とインターネット環境が利用できるよう早期に計画していく必要がある。

イ 寮生の安全な生活環境を維持するために、セキュリティシステムの充実と改善整備を順次進めていく必要がある。

ウ 寮の運営においては、寮生会が大きな役割を担っており、教員による寮生指導・寮生会指導と寮生会による寮内秩序の維持をバランスよく進めていく必要がある。

4. 留学生受入れについて

(1) 基本方針

- ・ 受入人数は、原則として各学科で学年毎に1名とし15名を上限としている。
- ・ 授業に関しては、原則として一般学生と同じカリキュラムとしている。ただし、国語及び社会の授業は、日本語等の理解度を考慮して別途カリキュラムを組むことにしている。
- ・ 生活に関しては、原則として一般寮生と同様に寮で生活を行うこととしている。ただし、宗教・文化の違いを考慮しつつ、必要な場合は特別な配慮を行うことにしている。

(2) 受入体制

- ・ 教務主事所管の留学生支援体制
- ・ 留学生に関する教育課程や生活支援など重要事項に関しては、学科長会議で諮ることとしている。

ア 主な支援組織

- ① 教務主事
留学生に関する諸事項を総括する。
- ② 留学生指導教員
留学生の学習及び生活の助言を行う。各専門学科の専任教員の中から任命。
- ③ チューター
留学生の学校生活や寮生活に関して必要な助言を行う。留学生と同一クラスの学生の中から任命。
これらの組織の役割及び支援活動をより明確に、よりきめ細かく行うために、下記の冊子を編纂し指導上の連携を図っている。
(ア) 留学生手引き
(イ) 指導教員ガイド
(ウ) チューターのために

イ 学習・生活面での支援

- ① 教科面では、3年生の国語(2単位)、政治経済(2単位)及び4,5年生の人文社会については、別途日本語教育(2単位)、政治経済(2単位)及び人文社会Ⅰ、Ⅱ(各2単位)を実施している。
- ② 課外面では、研修や交流活動を通して専門性や国際理解の高揚を図っている。
- ③ 生活面では、寮生活が基本であるため留学生の宗教的・文化的事情に配慮しつつ生活指導を行っている。

(別添参考資料「6. (15)留学生支援行事」 p.31参照)

ウ 施設・設備面での支援体制

校内に留学生控室を整備し、留学生のための自学自習スペースを確保している。また、寮では、留学生用のバスルームや宗教上の理由や閉寮のための特別な食事を作るキッチンが設けられている。

(3) 受入れの現状と評価

① 現状

留学生は自国で留学準備教育を受けるか、または東京・大阪で6ヵ月間の日本語等の教育を受けた後、3年生に編入学している。本校では、1986年(昭和61年)から外国人留学生の受入れを始め、これまでに45名の留学生を受け入れ、現在7名(マレーシア2, コロンビア1, カンボディア1, インドネシア1, スリランカ1, フ

イリピン1)が在籍している。卒業後の進路として、最近では全員が大学へ進学している。

(別添参考資料「6. (16)留学生の国別・学科別受入数」 p.31参照)

②評価

留学生は勤勉実直で向学心が高く、成績はクラスの上位を占めているものが多い。また、文化や習慣の違いを克服して積極的に日本での生活に慣れ親しむ意欲が旺盛である。このように、日本人学生にも大なり小なりのよい意味での刺激を与えており、国際交流の点からも一定の成果を挙げている。

(4)受入れの課題と対策

① 地域や日本人学生との交流の機会が少ない。

(対策)国際交流センターなどを利用して地域への積極的なPR活動を行ったり、国際交流をテーマとした低学年向けHRを検討する。

② 留学生は、宗教や文化の違いや故国を離れての生活など精神的にも負担の多い状況であるため、留学生専属のカウンセラーが必要とされる。

(対策)留学生同士の交流の機会を作ったり、必要な場合カウンセラーに相談できる体制作りを行う。

③ 今後、本校の国際交流等を推進していく上で、卒業した留学生のネットワークを作る必要がある。

(対策)留学指導教員を中心にネットワークを作る方向で検討を始める。

5. 学生相談室について

(1) 学生相談室の沿革

- 平成11年 準備室開設
平成12年 学生相談室設置 学生相談規則施行
発足当時のスタッフ 室長(教員), 教員相談員2名, 看護師, 外部カウンセラー(精神科医)
平成14年 学生相談室の利用手引き作成
平成15年 校舎改修に伴い学生相談室を保健室の隣に新設

(2) 学生相談室の現状

- ア スタッフ
平成12年～17年 発足当時と同じ。ただし, 16～17年は教員は担任と兼務。
平成18年 上記に加え, 臨床心理カウンセラー1名を増員予定。
- イ 相談日・相談時間
教員相談員2名 週2回 1回2時間
外部カウンセラー 隔週 1回3時間
平成18年度より 7月まで毎月4回 9月から毎月3回(予定)
- ウ スタッフ研修
メンタルヘルス, カウンセリングに関する研修会に適宜参加
- エ 学生相談を促す手段
・メールでの受付 ・相談箱の設置 ・保健室での申込み
・相談室の手引きの配付 ・アンケート実施による相談室の認知
- オ 学生相談の現状と傾向
- ① 相談件数の推移

| 平成12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度(11月末現在) |
|--------|------|------|------|------|--------------|
| 34 | 52 | 64 | 70 | 69 | 66 |

- ② 相談内容
- ・ 適応障害(学校, 寮, クラス, 授業等に馴染めない)
 - ・ 対人コミュニケーション困難 ・ 家庭内の問題
 - ・ 勉学, 成績に関する悩み ・ 精神的悩み(うつ的傾向)
 - ・ 自傷行為に関する事
- ③ 相談傾向
- ・ メール相談の増加 ・ 一人当りの相談回数の増加
 - ・ 相談内容の深刻化→専門カウンセラー担当ケースの増加
- カ 相談室主催の活動
- ・ 専門家による教職員向け講演会
 - ・ 学生に対する職業適性検査
 - ・ 学生向け自律訓練法, セルフコントロール法の講習

(3) 学生相談室の課題

- ア 室長, 教員相談員の専任化(現在は, 担任と兼務)
- イ 不登校学生, 保健室登校学生に対するケア
保健室, 相談室に代わるたまり場的な場所の確保とそこに来る学生をケアする体制作り。
- ウ 相談室の充実
学生が来談しやすい雰囲気作り(部屋のレイアウト, 備品等の充実等)。

6. 参考資料

(1) 学生生活指導（「学生生活指導の手引き」まえがき-抜粋-）

人間としての望ましい生き方に関する問題は、学問といわば車の両輪の関係にあり、未成年者が大部分を占める本校にあっては常に留意すべき面であり、教師として教科指導と同様の努力を注ぐべき点である。

このような問題は学生の自発的な発達にまかせなければならない面が多々あるし、押しつけでは十分な効果が上がらない。適当の距離をおいて、しかも離れっぱなしにならないように注意しながら成長を見守る態度をとることが必要だが、時としては、又、問題によっては深く近く入り込んで、厳しく対処しなければならない。その際、教師間に態度の差、姿勢の差が現れ出るのは望ましくない。個性がにじみ出る指導は、これは大部分の問題についてはむしろ重要なことだが、ある種の問題については最低限の意思の疎通は不可欠であり、指導に軽重があってはならない。

心身ともに激しく成長する思春期の人間形成教育は、学芸を通じても行われねばならないが、他面平行して教科活動では経験させたい環境を与え、この中で各種の方法を見出させ健全な発達を遂げさせる必要がある。即ちこれが学生の課外活動となり、学校行事等の特別教育活動であり、或いは課外における教官学生の接触指導とするのであり、教科活動とあわせて強引に推進指導実行されなければならない。

(2) 学生の懲戒処分及び指導措置に関する学則等

○ 米子工業高等専門学校学則

第45条 校長は、教育上必要があるときは、学生に退学、停学、訓告その他の懲戒を加えることがある。ただし、退学は、次の各号の一に該当する者について行うものとする。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく出席常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

○ 学生事故とその教育的措置について（「学生生活指導の手引き」-抜粋-）

学則にいう退学・停学・訓告・その他の懲戒処分（文部省に報告するもの）は、学力劣等・出席不足・秩序紊乱・性行不良の極端な場合に行う措置であり、軽微な事故・学則違反については、適当な反省期間を設け再発を防止するのが良策である。

学生事故に接した教官は、ただちにクラス担任に連絡する。クラス担任は、学生主事・主事補と連絡をとりながら関係学生から事情を聴取し、当該学生を適切な方法で保護・指導する。

軽微の事故や下記の事故については本校で措置を決定する。クラス担任は、学生部と協力しながら学生の指導にあたる。その場合、学生部は至近の学生委員会及び教官会議に事故の状況・指導の経緯を報告する。重大な事故や前例のない事故及び下記に含まれない事故については、学生委員会に諮り指導措置を審議する。学生委員会が必要と認めた場合は、さらに教官会議で協議のうえ措置を決定する。

(3) クラブ・同好会等一覧

| 種目 | 顧問の数 | 部員数 | 参加大会 | | | 16年度 県表彰 | 16年度市表彰 |
|------------|------|-----|------|-----|-------|-------------|---------|
| | | | 高専大会 | 県大会 | 一般の大会 | | |
| 陸上競技 | 3 | 22 | ○ | ○ | | | |
| バレーボール | 4 | 42 | ○ | ○ | | | |
| バスケットボール | 4 | 43 | ○ | ○ | | | |
| ソフトテニス | 3 | 46 | ○ | ○ | ○ | | 団体1・個人2 |
| 卓球 | 3 | 45 | ○ | ○ | ○ | | 団体1・個人1 |
| 柔道 | 3 | 14 | ○ | ○ | | | |
| 剣道 | 2 | 25 | ○ | ○ | | | 個人1 |
| 野球(高) | 5 | 30 | | ○ | | | |
| 野球(専) | 3 | 17 | ○ | | | | |
| サッカー | 3 | 41 | ○ | ○ | ○ | | |
| ラグビー | 3 | 21 | ○ | ○ | | | |
| ハンドボール | 3 | 23 | ○ | ○ | ○ | | |
| 水泳 | 3 | 27 | ○ | ○ | | | 個人7 |
| ヨット | 3 | 7 | | ○ | ○ | | |
| テニス | 3 | 32 | ○ | ○ | ○ | 個人2 | 団体1・個人2 |
| バドミントン | 3 | 29 | ○ | ○ | | | 個人1 |
| 空手道 | 3 | 20 | | ○ | | | |
| 吹奏楽 | 3 | 41 | | ○ | ○ | | |
| 科学 | 2 | 11 | | | ○ | | |
| 文芸 | 2 | 14 | ○ | | | | |
| 軽音楽 | 2 | 43 | | | | | |
| 放送 | 2 | 5 | | ○ | | | |
| 茶道・華道 | 2 | 13 | | | | | |
| コンピュータ | 1 | 6 | ○ | | | | |
| 美術 | 2 | 13 | ○ | | | | |
| インターアクト | 1 | 9 | | | | | |
| 書道 | 1 | 9 | | | ○ | | |
| スターリングエンジン | 1 | 13 | | | | | |
| 漫画研究 | 1 | 15 | | | | | |
| アマチュア無線 | 1 | 4 | | | | | |
| 合唱 | 1 | 15 | | | | | |
| 英会話 | 1 | 3 | | | | | |
| 将棋 | 1 | 7 | ○ | ○ | | | |
| 合計 | 78 | 705 | | | | | |

(4) 対外試合等参加一覧(平成16年度)

| クラブ名 | 月日 | 曜日 | 試合名等 | 場所 |
|--------|--------|----|------------------------|-----------|
| 陸上競技 | 5. 22 | 土 | 高校総体 | 布勢総合運動公園 |
| | 5. 23 | 日 | 高校総体 | 布勢総合運動公園 |
| | 9. 25 | 土 | 鳥取県高等学校新人陸上競技大会 | 東山陸上競技場 |
| | 9. 26 | 日 | 鳥取県高等学校新人陸上競技大会 | 東山陸上競技場 |
| 水泳 | 6. 26 | 土 | 高校総体 | 河原町民プール |
| | 6. 27 | 日 | 高校総体 | 河原町民プール |
| 柔道 | 10. 03 | 日 | 第21回青青少年育成柔道大会 | 境港市民体育館 |
| | 10. 16 | 土 | 鳥取県高等学校柔道新人戦 | 県立武道館 |
| | 10. 30 | 土 | 鳥取県高等学校柔道新人戦 | 倉吉武道館 |
| | 10. 31 | 日 | 鳥取県高等学校柔道新人戦 | 倉吉武道館 |
| 剣道 | 6. 05 | 土 | 高校総体 | 県立武道館 |
| | 6. 06 | 日 | 高校総体 | 県立武道館 |
| | 8. 08 | 日 | 西部地区大会 | 県立武道館 |
| | 10. 31 | 日 | 西部地区新人戦大会 | 県立武道館 |
| | 11. 13 | 土 | 県高校剣道新人戦大会 | 倉吉北高校 |
| | 11. 14 | 日 | 県高校剣道新人戦大会 | 倉吉北高校 |
| 空手 | 4. 24 | 土 | 中国高等学校空手道選手権鳥取県予選 | 県立武道館 |
| | 6. 05 | 土 | 高校総体 | 県立武道館 |
| | 6. 19 | 土 | 中国高等学校空手道選手権大会鳥取県予選 | 県立武道館 |
| | 6. 20 | 日 | 中国高等学校空手道選手権大会鳥取県予選 | 県立武道館 |
| | 7. 04 | 日 | 境港市民総合体育大会空手道競技大会 | 県立武道館 |
| | 11. 03 | 祝 | 中国高等学校空手道選抜大会鳥取県予選 | 県立武道館 |
| ヨット | 5. 02 | 日 | 全国高等学校選抜ヨット選手権大会 | 境港公共マリーナ |
| | 5. 03 | 祝 | 全国高等学校選抜ヨット選手権大会 | 境港公共マリーナ |
| | 5. 04 | 祝 | 全国高等学校選抜ヨット選手権大会 | 境港公共マリーナ |
| | 6. 19 | 土 | 全国高等学校総合体育大会ヨット競技の部 | 牛窓ヨットハーバー |
| | 6. 20 | 日 | 全国高等学校総合体育大会ヨット競技の部 | 牛窓ヨットハーバー |
| | 8. 21 | 土 | 全国高等学校総合体育大会ヨット競技の部 | 牛窓ヨットハーバー |
| | 8. 22 | 日 | 全国高等学校総合体育大会ヨット競技の部 | 牛窓ヨットハーバー |
| ハンドボール | 4. 17 | 土 | 中国高等学校ハンドボール選手権大会鳥取県予選 | 境港市民体育館 |
| | 4. 18 | 日 | 中国高等学校ハンドボール選手権大会鳥取県予選 | 境港市民体育館 |
| | 1. 15 | 祝 | ハンドボール中国高校選抜大会鳥取県予選会 | 米子市民体育館 |
| サッカー | 4. 10 | 土 | 練習試合(対米子北斗) | 米子北斗高校 |
| | 4. 17 | 土 | 練習試合(対JR米子) | 米子高専 |
| | 4. 18 | 日 | 練習試合(対まっちゃんず) | 米子高専 |
| | 4. 24 | 土 | 鳥取県高校選手権 | 鳥取工業高校 |
| | 6. 05 | 土 | 高校総体 | 米子西高校 |
| | 6. 06 | 日 | 高校総体 | 東山球技場 |
| | 6. 20 | 日 | 天皇杯予選鳥取県大会 | 布施グラウンド |
| | 7. 11 | 日 | 鳥取県高等学校サッカー新人戦西部地区予選 | 境高校 |
| | 7. 24 | 土 | 鳥取県高等学校サッカー新人戦西部地区予選 | 境高校 |
| | 7. 25 | 日 | 鳥取県高等学校サッカー新人戦西部地区予選 | 米子西高校 |

| | | | | |
|--------|--------|---|----------------------------|------------|
| | 9. 12 | 日 | 日本海リーグ(対サンキFC) | 東山球技場 |
| | 9. 26 | 日 | 日本海リーグ(対鳥取ブラジル) | 東伯町総合グラウンド |
| | 10. 03 | 月 | 日本海リーグ(対エスポワールSC) | 東伯町総合グラウンド |
| | 10. 10 | 日 | 日本海リーグ戦(対元気SC) | 東山球技場 |
| | 10. 17 | 日 | 日本海リーグ戦(対西部SC) | 境水産高校 |
| | 11. 28 | 日 | 日本海リーグ戦(対クレバース) | 東山球技場 |
| ラグビー | 10. 03 | 日 | 練習試合(対米子東) | 東山球技場 |
| テニス | 4. 04 | 日 | スプリングカップ | 東山庭球場 |
| | 4. 11 | 日 | 西部選手権 | 東山庭球場 |
| | 4. 18 | 日 | 鳥取県高等学校テニス選手権大会鳥取県予選 | 東山庭球場 |
| | 9. 12 | 日 | 西島杯テニストーナメント | 東山庭球場 |
| | 11. 03 | 日 | 全国選抜高校テニス鳥取県予選 | 布勢総合運動公園 |
| | 11. 03 | 日 | 全国選抜高校テニス鳥取県予選 | 布勢総合運動公園 |
| 男子バレー | 4. 11 | 日 | 鳥取県高等学校バレーボール選手権大会西部地区予選 | 米子工業高校 |
| | 4. 17 | 日 | 鳥取県高等学校バレーボール選手権大会 | 倉吉東高校 |
| | 5. 23 | 日 | 春季6人制バレーボール大会(男子) | 福米体育館 |
| | 6. 05 | 日 | 高校総体 | 青谷高校 |
| | 11. 13 | 土 | 鳥取県高等学校新人バレーボール選手権大会 | 米子市民体育館 |
| | 11. 14 | 日 | 鳥取県高等学校新人バレーボール選手権大会 | 米子市民体育館 |
| 女子バレー | 5. 23 | 日 | 春季6人制バレーボール大会(女子) | 福米体育館 |
| | 11. 23 | 祝 | 鳥取県学生バレーボール選手権大会 | 米子高専 |
| ソフトテニス | 4. 04 | 日 | やすぎオープンソフトテニス大会 | 安来市営テニスコート |
| | 4. 10 | 土 | ショウ杯団体対抗 | 松江市運動公園 |
| | 4. 17 | 土 | 国体県1次予選 | 倉吉市営コート |
| | 4. 24 | 土 | 山陰ソフトテニス選手権大会 | 浜山公園テニスコート |
| | 4. 25 | 日 | 山陰ソフトテニス選手権大会 | 浜山公園テニスコート |
| | 5. 01 | 土 | 高校総体西部地区予選 | 東山庭球場 |
| | 5. 05 | 祝 | 日野クラブ杯争奪ソフトテニス大会 | 江府町テニスコート |
| | 6. 05 | 土 | 高校総体 | 東山庭球場 |
| | 6. 06 | 日 | 高校総体 | 東山庭球場 |
| | 6. 12 | 土 | 国体県2次予選 | 三朝町営テニスコート |
| | 6. 20 | 日 | 山陰学生選手権 | 島根大学 |
| | 7. 11 | 日 | 国体県予選最終 | 赤碕町営テニスコート |
| | 8. 07 | 土 | 全国高等学校総合体育大会 | 松江市営庭球場 |
| | 8. 22 | 日 | 西島杯全山陰高校選手権 | 東山庭球場 |
| | 10. 02 | 土 | 新人戦西部地区予選会 | 東山庭球場 |
| | 10. 11 | 祝 | 米子市民ソフトテニス大会 | 東山庭球場 |
| | 10. 17 | 日 | 東伯クラブ杯ソフトテニス大会 | 赤碕町営テニスコート |
| | 10. 30 | 土 | 鳥取県高校ソフトテニス新人戦 | 倉吉市営庭球場 |
| | 10. 31 | 日 | 鳥取県高校ソフトテニス新人戦 | 倉吉市営庭球場 |
| | 11. 21 | 日 | 山陰学生ソフトテニス大会 | 島根大学 |
| | 1. 25 | 日 | 米子インドアソフトテニス大会 | 米子産業体育館 |
| バスケット | 4. 03 | 土 | 練習試合(対米子南) | 米子高専 |
| | 4. 10 | 日 | 練習試合(対米子南, 米子) | 米子高専 |
| | 4. 17 | 土 | 中国高校バスケットボール選手権鳥取県予選(対倉吉東) | 米子高校 |
| | 4. 29 | 祝 | 練習試合(対米子東) | 米子東高校 |
| | 5. 29 | 土 | 練習試合(対米子西) | 米子高専 |

| | | | | |
|------|--------|---|----------------------------|-----------|
| | 7. 11 | 日 | 練習試合(対米子東) | 米子東高校 |
| | 10. 17 | 日 | 練習試合(対松江高専・松江南) | 松江高専 |
| | 10. 23 | 土 | 練習試合(対米子東) | 米子高専 |
| | 10. 30 | 土 | 練習試合(対米子西, 米子) | 米子高校 |
| | 11. 03 | 祝 | 全国選抜大会鳥取県西部地区予選会 | 米子南高校 |
| | 12. 11 | 土 | 鳥取県高等学校新人バスケットボール大会西部地区予選会 | 米子南高校 |
| | 12. 18 | 土 | 鳥取県高等学校新人バスケットボール大会西部地区予選会 | 米子南高校 |
| | 12. 19 | 日 | 鳥取県高等学校新人バスケットボール大会西部地区予選会 | 米子南高校 |
| | 1. 10 | 祝 | 新人戦 | 鳥取西校 |
| | 3. 27 | 土 | 練習試合(対米子松蔭) | 米子高専 |
| 高校野球 | 4. 10 | 土 | 練習試合(対米子西) | 米子西高校 |
| | 4. 11 | 日 | 練習試合(安来) | 安来高校 |
| | 4. 17 | 土 | 練習試合(対安来情報) | 米子高専 |
| | 4. 17 | 土 | 練習試合(対安来情報) | 米子高専 |
| | 4. 18 | 日 | 練習試合(対倉吉農業高校) | 倉吉農業高校 |
| | 4. 24 | 土 | 練習試合(対日野, 米子) | 米子高専 |
| | 4. 29 | 祝 | 春季鳥取県高校野球大会 | 赤碓野球場 |
| | 5. 08 | 日 | 練習試合(対境港工業) | 米子高専 |
| | 5. 22 | 土 | 練習試合(対倉吉工業) | 米子高専 |
| | 5. 23 | 日 | 春季3高専野球大会 | 米子高専 |
| | 5. 29 | 土 | 練習試合(対託間電波・高松高専) | 香川県宮球場 |
| | 5. 30 | 日 | 練習試合(対高松東・飯山高) | 高松東高校 |
| | 6. 19 | 土 | 練習試合(対鳥取工業) | 米子高専 |
| | 7. 04 | 日 | 練習試合(対松江工業) | 松江工業 |
| | 7. 10 | 土 | 練習試合(対大東) | 米子高専 |
| | 7. 19 | 祝 | 全国高等学校野球選手権鳥取大会 | 米子市民球場 |
| | 7. 19 | 祝 | 全国高等学校野球選手権鳥取大会 | 米子市民球場 |
| | 8. 08 | 日 | 練習試合(対安来情報科学) | 米子市民球場 |
| | 8. 21 | 土 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対米子東) | 米子西高校 |
| | 8. 21 | 土 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対米子東) | 米子西高校 |
| | 8. 22 | 日 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対米子) | 米子東高校 |
| | 8. 22 | 日 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対米子) | 米子東高校 |
| | 8. 28 | 土 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対米子西) | 米子西高校 |
| | 8. 28 | 土 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対米子西) | 米子西高校 |
| | 8. 29 | 日 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対境総合) | 米子高専 |
| | 8. 29 | 日 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対境総合) | 米子高専 |
| | 9. 11 | 土 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対日野) | 米子高専 |
| | 9. 11 | 土 | 鳥取県西部地区高等学校秋季野球リーグ戦(対日野) | 米子高専 |
| | 9. 23 | 祝 | 練習試合(対松江高専) | 米子高専 |
| | 10. 02 | 土 | 秋季鳥取県高等学校野球大会 | 布施運動公園野球場 |
| | 10. 03 | 日 | 秋季鳥取県高等学校野球大会 | 布施運動公園野球場 |
| | 10. 03 | 日 | 秋季鳥取県高等学校野球大会 | 布施運動公園野球場 |
| | 10. 17 | 日 | 鳥取県西部地区高等学校一年生大会 | 米子高専 |
| | 10. 23 | 土 | 3校交流試合 | 津山高専 |
| | 11. 13 | 土 | 練習試合(対米子工業) | 米子高専 |
| | 3. 21 | 日 | 春季西部リーグ(対米子工校) | 米子工高 |
| | 3. 28 | 日 | 春季西部リーグ(対米子東校) | 米子東高 |

| | | | | |
|---------|--------|---|--------------------------|--------------|
| 高専野球 | 4. 24 | 土 | 3校対抗 | 津山高専 |
| | 4. 25 | 日 | 3校対抗 | 津山高専 |
| | 10. 17 | 日 | 3校対抗 | 松江高専 |
| 卓球 | 4. 18 | 日 | 中国卓球選手権大会鳥取県予選会 | 福生体育館 |
| | 5. 08 | 土 | 鳥取県春季高等学校卓球選手権大会 | 米子市民体育館 |
| | 5. 09 | 日 | 鳥取県春季高等学校卓球選手権大会 | 米子市民体育館 |
| | 7. 03 | 日 | 練習試合(対平田高校) | 平田高校 |
| | 7. 10 | 日 | 国体鳥取県選手権参考会 | あやめ池スポーツセンター |
| | 10. 03 | 日 | 全日本卓球選手権大会鳥取県予選会 | 米子市民体育館 |
| | 10. 30 | 土 | 鳥取県高校卓球新人戦西部地区予選会 | 米子市民体育館 |
| | 10. 31 | 日 | 鳥取県高校卓球新人戦西部地区予選会 | 米子市民体育館 |
| | 11. 06 | 土 | 鳥取県高校卓球新人戦大会 | 鳥取産業体育館 |
| | 11. 07 | 日 | 鳥取県高校卓球新人戦大会 | 鳥取産業体育館 |
| | 11. 20 | 土 | 近県硬式卓球選手権大会 | 鳥取県民体育館 |
| | 11. 21 | 日 | 近県硬式卓球選手権大会 | 鳥取県民体育館 |
| | 12. 11 | 土 | 全国高校選抜卓球大会鳥取県予選会 | 倉吉体育文化会館 |
| | 12. 12 | 日 | 第15回境港オープン卓球大会 | 境港市民体育館 |
| バドミントン | 11. 13 | 土 | 高校バドミントン選手権新人戦 | 倉吉体育文化会館 |
| | 3. 20 | 土 | 中国四国地区高専バドミントン大会 | 高知県青年体育館 |
| | 3. 21 | 日 | 中国四国地区高専バドミントン大会 | 高知県青年体育館 |
| 放送 | 5. 22 | 土 | NHK杯全国放送コンテスト鳥取県大会西部地区予選 | 米子南高校 |
| | 6. 13 | 日 | NHK杯全国放送コンテスト鳥取県大会 | 県民文化会館 |
| 吹奏楽 | 8. 28 | 土 | 全日本吹奏楽コンクール中国大会 | 周南市文化会館 |
| | 10. 10 | 日 | われもこうまつり | 吾亦紅作業所 |
| | 11. 14 | 日 | 弓ヶ浜小学校音楽のタベ | 弓ヶ浜小学校 |
| | 11. 21 | 日 | 老人介護保健施設あわしま慰問演奏 | 保健施設あわしま |
| 将棋 | 5. 15 | 土 | 高校将棋選手権 | 鳥取さざんか会館 |
| | 7. 31 | 土 | 高校将棋選手権 | 阿南市市民文化会館 |
| 茶道 | 6. 27 | 日 | 大山乗馬センター祭 | 大山乗馬センター |
| インターアクト | 7. 25 | 日 | インターアクト地区大会 | 大山ロイヤルホテル |
| 文芸 | 6. 27 | 日 | 大山乗馬センター祭 | 大山乗馬センター |

(5)大会成績一覧

○全国高専体育大会等成績一覧

| 年 | 回 | 主管校 | 成 績(3位以内) | |
|----|----|------|-------------|--------------------------|
| | | | 団 体 | 個 人 |
| 7 | 30 | 近畿 | ハンドボール(3位) | 陸上 4*400m(優勝) |
| | | | | 陸上 100m 佐川素(2位) |
| | | | | 陸上 走高跳 黒永(2位) |
| | | | | テニス ダブルス女子 二岡・飛田(3位) |
| | | | | バドミントン ダブルス女子 稲田・佐藤(2位) |
| | | | | バドミントン シングルス女子 稲田(3位) |
| 8 | 31 | 九州 | ハンドボール(3位) | テニス ダブルス女子 飛田・二岡(優勝) |
| 9 | 32 | 東海北陸 | ハンドボール(準優勝) | (全国高専将棋大会 宇山(準優勝)) |
| 10 | 33 | 関東信越 | | 陸上 女子砲丸投 森安(2位) |
| | | | | 水泳 100m平泳 佐々木(優勝) |
| | | | | 水泳 200m平泳 佐々木(優勝) |
| | | | | 水泳 女子50m背泳 荒木(3位) |
| | | | | テニス シングルス女子 石田(3位) |
| | | | | (ヨット 全日本女子スライプ級 両見(準優勝)) |
| 11 | 34 | 四国 | | テニス ダブルス女子 石田・大西(優勝) |
| | | | | バドミントン シングルス男子 宮崎(3位) |
| | | | | バドミントン ダブルス男子 宮崎・大上(3位) |
| | | | | (ヨット 全日本女子スライプ級 両見(準優勝)) |
| 12 | 35 | 北海道 | | 陸上 女子砲丸投 森安(2位) |
| | | | | ソフトテニス ダブルス女子 大西・足立(3位) |
| | | | | 卓球 シングルス男子 河野(優勝) |
| | | | | テニス ダブルス男子 渡邊・内藤(2位) |
| | | | | テニス ダブルス女子 石田・大西(優勝) |
| | | | | テニス ダブルス女子 山本・杉山(2位) |
| 13 | 36 | 中国 | ハンドボール(優勝) | 陸上 女子砲丸投 森安(2位) |
| | | | 卓球(3位) | 水泳 200mバタフライ 山田(2位) |
| | | | | バドミントン ダブルス男子 宮崎・筒井(3位) |
| 14 | 37 | 東北 | ハンドボール(準優勝) | 陸上 女子砲丸投 森安(2位) |
| | | | | 水泳 200mバタフライ 山田(3位) |
| 15 | 38 | 九州 | | バドミントン ダブルス女子 野口・下村(2位) |
| | | | | 卓球 ダブルス男子 河野・有田(3位) |
| | | | | 水泳 200mバタフライ 山田(3位) |
| 16 | 39 | 東海北陸 | | テニス ダブルス男子 富田・月谷(3位) |

○プログラムコンテスト(2002～)

| 年度 | 開催校 | 部門 | テーマ | 参加者 | タイトル | 予選 | 全国大会 |
|------|-----|----|---------------|-----------|--------------------------------------|----|--------|
| 2002 | 石川 | 競技 | 以心伝心DNA | (不参加) | | | |
| | | 課題 | スポーツとコンピュータ | D科河野研究室 | Ping Pong Dash 一卓球スコア記録分析システム | ◎ | |
| | | 自由 | | (不参加) | | | |
| 2003 | 東京 | 競技 | 達人に隙なし | コンピュータ同好会 | | ◎ | 1回戦敗退 |
| | | 課題 | スポーツとコンピュータ | D科河野研究室 | | ◎ | 審査員特別賞 |
| | | 自由 | | (不参加) | | | |
| 2004 | 新居浜 | 競技 | 記憶のかけら | コンピュータ同好会 | Puzzle Decoder | ◎ | 1回戦敗退 |
| | | 課題 | 街に活きているコンピュータ | (不参加) | | | |
| | | 自由 | | D科河野研究室 | 必殺！仕立て人—画像処理を用いたドレス遠隔制作支援システム— | ◎ | 敢闘賞 |
| 2005 | 米子 | 競技 | ハートを捜せ！ | コンピュータ同好会 | 真実を探して | ◎ | 1回戦敗退 |
| | | 課題 | 街に活きているコンピュータ | E科2年生 | 速度監視人 | ◎ | 敢闘賞 |
| | | 自由 | | D科河野研究室 | どっちの文句裁く省 判決はどっち！？ 一卓球自動判定システム | ◎ | 敢闘賞 |

○ロボットコンテスト

| 年度 | 主管 | 競技課題名 | 学科 | ロボット名 | 中国地区大会 | 全国大会 |
|------|----|-------------------|----|-------------|--------------------------|------------------|
| 1988 | | 乾電池カー・スピードレース | | 不参加 | | |
| 1989 | | オクトパス・フットボール | | 不参加 | | |
| 1990 | | ニュートロンスター | E | 白砂1号 | なし | 予選敗退 |
| 1991 | 呉 | ホットタワー | E | パタバラ3号 | 2回戦敗退 | |
| | | | D | グッチ8 | 1回戦敗退 | |
| 1992 | 津山 | ミステリーサークル | E | 4×4シューター | 1回戦敗退 | |
| | | | M | MVPシューター | 2回戦敗退 | |
| 1993 | 徳山 | ステップダンス | E | 大風呂敷を広げる号 | 2回戦敗退 | |
| | | | D | アザレア | 準決勝敗退 | |
| 1994 | 松江 | スペースフライヤー | M | ディスクザウルス | 1回戦敗退 | |
| | | | E | 護摩木南風 | 1回戦敗退 | |
| 1995 | 宇部 | ドリームタワー | M | 超恐竜Ⅱ | 優勝(全国大会進出) | 準優勝 |
| | | | D | エアシップ花子 | 準決勝敗退 | |
| 1996 | 米子 | テクノカーボーイ | E | テクニスコーピオン | 準決勝敗退 | |
| | | | M | コードネーム・Bee | 2回戦敗退 | |
| 1997 | 大島 | 花開蝶来 | E | てふてふ君 | 優勝(全国大会進出) | 準々決勝敗退 |
| | | | D | 大将浪漫 | 準優勝 | |
| 1998 | 広島 | 生命上陸 | M | ムササBee! | 1回戦敗退 | |
| | | | D | Hello Baby | 準優勝(全国大会進出) | 2回戦敗退 |
| 1999 | 呉 | ジャンプ・トゥー・ザ・フューチャー | M | M-MAIL | 1回戦敗退 | |
| | | | M | 式人Ⅲ脚型 | 2回戦敗退(省エネルギーセン ター賞受賞) | デモンストレーシ ョン参加 |
| 2000 | 津山 | ミレニアム・メッセージ | D | 独立宣言! ROBOX | 1回戦敗退 | |
| | | | M | Tsushi-MAX | 優勝(全国大会進出) | 準決勝敗退(技 術賞受賞) |
| 2001 | 徳山 | Happy Birthday 39 | D | ジャックと辻の木 | 1回戦敗退 | |
| | | | M | プレゼントボックス | 1回戦敗退 | |
| 2002 | 米子 | プロジェクトBOX | M | バランスメーカー | 優勝(全国大会進出) | 準優勝 |
| | | | D | 頂上現象 | 準決勝敗退(特別賞(中国 電力)受賞) | |
| 2003 | 宇部 | 鼎(KANAE) | D | Multi-PP | 1回戦敗退 | |
| | | | M | Disc-1 | 準決勝敗退(技術賞受賞・ 全国大会進出) | 2回戦敗退(技術 賞受賞) |
| 2004 | 松江 | マーズラッシュ | D | NASHA | 2回戦敗退(アイデア賞受 賞) | |
| | | | M | D4U | 1回戦敗退(特別賞受賞) | |
| 2005 | 大島 | 大運動会 | M | √Runner | 1回戦敗退(技術賞受賞) | |
| | | | D | 光速五重奏 | 1回戦敗退 | |

○デザインコンテスト

| 年度 | 主管 | メインテーマ | コンペティション | サブテーマ | 作品名 | 全国大会 |
|--------------|----|--------------|-----------------------|-------------------|--------------------------|----------|
| 2004 | 石川 | まちづくりへのチャレンジ | 地域交流シンポジウムセッション | | 再生写真 | 優秀賞 |
| | | | ものづくりワークショップセッション | 座ってまちをみつける場所 | 上を向いて座ろう | 佳作 |
| | | | 構造デザインコンペティションセッション | ブリッジコンテスト | (米子高専) | 競技3位 |
| | | | 木造住宅デザインコンペティションセッション | 帰りたくなる家 | 『味噌汁の家』 | 最優秀賞 |
| | | | 複合住居デザインコンペティションセッション | まち暮らしをたのしむための複合住居 | コインロッカーブギウギ 八百屋野菜ビル | 佳作 佳作 |
| 2005 | 明石 | 復興+共生 | 構造デザインコンペティション | ブリッジコンテスト | サンキュー-TOKYO! サヨナラ YONAGO | 優秀賞 |
| | | | | | Glory bridge | |
| | | | 環境デザインコンペティション | 水辺の共生空間 | 漏刻～駅+Imin～計画 | |
| | | | | | Mizu-Daruma | 佳作 |
| | | | | | 水屋根の橋 | 佳作 |
| | | | | | 雨の音を楽しむ雨の日の待ち合わせ場所 | |
| | | | プロポーサルデザインコンペティション | 癒しの避難所シェルター | shelter × 1 | 佳作 |
| card shelter | | | | | | |

○鳥取県建築学生コンペ(最優秀, 優秀賞) (～H11年度)

| 年度 | 受賞内容 | 氏名 |
|-----|------|-------|
| H 9 | 最優秀 | 茂上 香織 |
| | | 伊東 直美 |
| | | 荒井雄一郎 |
| | 優秀 | 足羽 輝芳 |
| H10 | 最優秀 | 石原 啓之 |
| | 優秀 | 松本 康夫 |
| H11 | 最優秀 | 加藤 香織 |
| | | 岩本 義英 |
| | | 大畑 乙女 |
| | 優秀 | 田中 猛 |

○鳥取県青少年アイデアコンテスト(H12年度～)

| 年度 | 受賞内容 | 氏名 |
|-----|------|-------|
| H12 | 最優秀 | 矢倉 明絵 |
| H13 | 最優秀 | 精山 由美 |
| | 優秀 | 沼田 恵子 |
| H14 | 優秀 | 田畝 典子 |
| | | 三原 敦 |
| H15 | 最優秀 | 松本 祐美 |
| | 優秀 | ルクマン |
| H16 | 最優秀 | 石坂 緑 |
| | 優秀 | 中村 憲治 |

○建築シンポジウム設計競技部門

| 年度 | 受賞内容 | 氏名 |
|-----|------|-------|
| H13 | 最優秀 | 須山 美香 |
| | 2位 | 森岡 愛 |
| H15 | 優秀 | 中村 憲治 |
| | | 小椋 弘佳 |

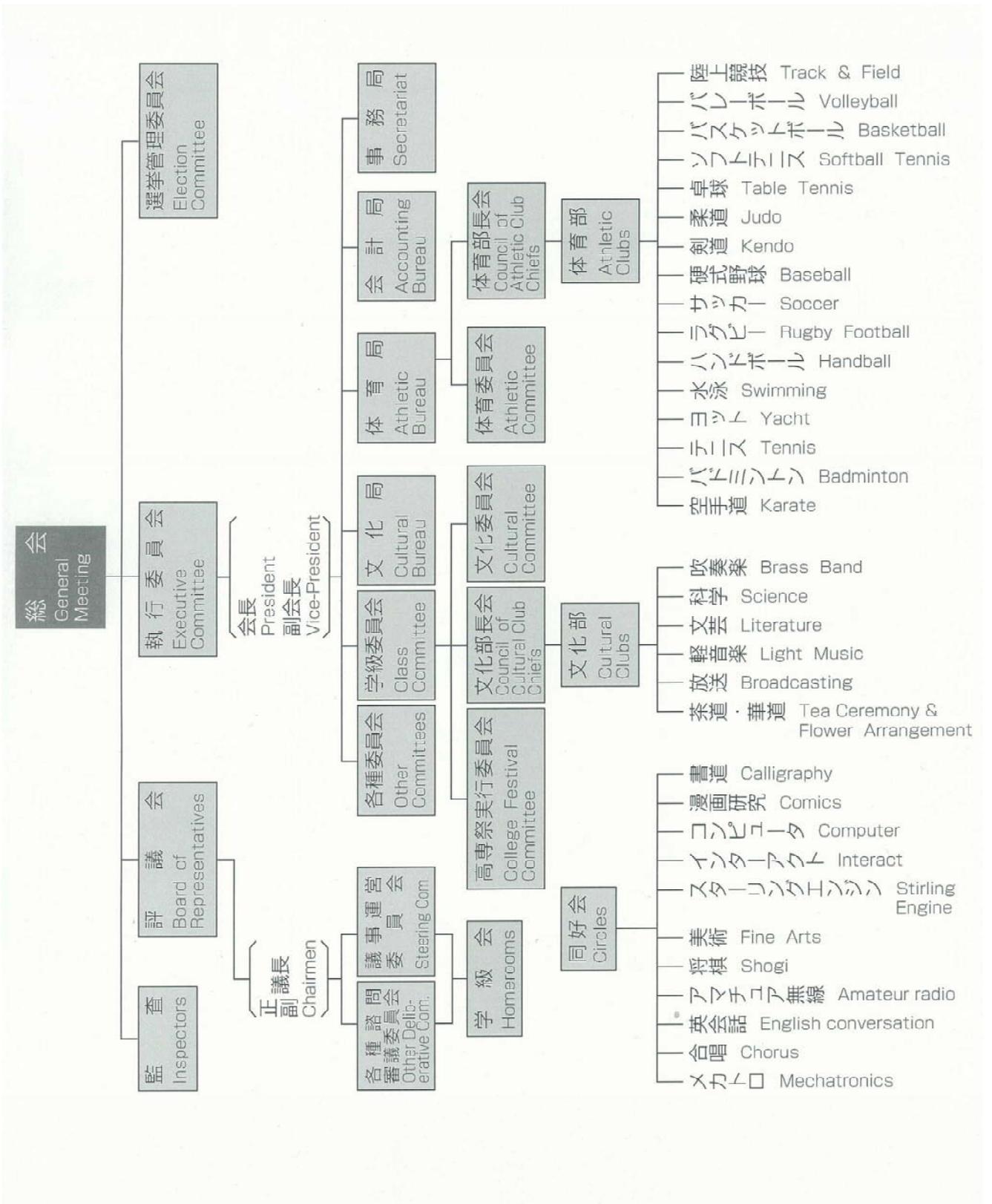
○鳥取県「環境にやさしい住まいづくり」コンテスト

| 年度 | 受賞内容 | 氏名 |
|-----|------|-------|
| H15 | 優秀 | 福岡伊智子 |
| | | 倉本 真衣 |

○英語弁論大会(優勝者)

| 年度 (主管校) | 暗唱の部 | スピーチの部 |
|--------------------------|--------------|---------------|
| 1985年 (第1回) (呉 高専) | 左近香奈子 (米子高専) | 松江直樹 (米子高専) |
| 1986年 (第2回) (大島商船高専) | 左近香奈子 (米子高専) | 松本正茂 (宇部高専) |
| 1988年 (第4回) (津山高専) | 上田和恵 (津山高専) | 福間宏一 (米子高専) |
| 1991年 (第7回) (呉 高専) | 天野佐和子 (米子高専) | 森田朋子 (広島商船高専) |
| 1992年 (第8回) (広島商船高専) | 松原めぐみ (宇部高専) | 天野佐知子 (米子高専) |
| 1999年 (第15回) (広島商船高専) | 大淵英美里 (米子高専) | 塩道麗子 (松江高専) |
| 2000年 (第16回) (宇部高専) | 野田夏紀 (米子高専) | 大前麻由美 (宇部高専) |
| 2001年 (第17回) (呉 高専) | 佐藤千代 (米子高専) | 角田真一 (松江高専) |

(6) 学生会組織図



(7) 学生支援関係予算

○ 厚生補導経費

(平成16年度執行額)

| クラブ等名 | 金額 |
|---------|-----------|
| 柔道 | 437,503 |
| バレー | 369,600 |
| 吹奏楽 | 235,200 |
| サッカー | 303,765 |
| ソフトテニス | 80,700 |
| ヨット | 79,070 |
| テニス | 1,113,643 |
| 野球部 | 516,170 |
| 卓球 | 27,090 |
| 水泳 | 110,250 |
| 放送部 | 193,750 |
| 学生部・その他 | 2,396,824 |
| 合計 | 5,863,565 |

○ 学生会費

(平成16年度)

| 項目 | 決算額 | |
|-------|-----------|---------|
| 事務局 | 45,030 | |
| 体育局 | 体育祭 | 66,491 |
| | 球技大会 | 102,365 |
| | 球技大会備品代 | 14,703 |
| 文化局 | 65,476 | |
| 会計局 | 630 | |
| 遠征費 | 61,780 | |
| 高専祭 | 1,450,000 | |
| 部活動費 | 3,280,777 | |
| 予備費 | 58,266 | |
| 次期繰越金 | 869,022 | |
| 合計 | 6,014,540 | |

○ 後援会費による学生生活動援助

(年度平均)

| 高専全国大会 | 大会運営費 | 制作費 | 学生旅費 | 学生引率費 | 合計 |
|--------------------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| ロボットコンテスト(校内・中国大会) | 345,000 | 790,000 | 458,000 | 235,800 | 1,828,800 |
| ロボットコンテスト(全国大会) | 120,000 | 100,000 | 500,000 | 280,000 | 1,000,000 |
| プログラミングコンテスト(全国大会) | 50,000 | 300,000 | 300,000 | 250,000 | 900,000 |
| デザインコンペティション(全国大会) | 40,000 | 200,000 | 250,000 | 100,000 | 590,000 |

| 課外活動援助 | 分担金 | 学生旅費補助 | 引率旅費等 | 予備費ほか | 合計 |
|-----------|---------|-----------|---------|---------|-----------|
| 高専・中国体育大会 | 420,000 | 1,900,000 | 980,000 | 80,000 | 3,380,000 |
| 高専・全国体育大会 | 225,000 | 1,800,000 | 700,000 | 140,000 | 2,865,000 |
| その他高専交流 | 85,000 | 120,000 | 200,000 | 30,000 | 435,000 |
| その他の大会 | | 600,000 | 500,000 | 300,000 | 1,400,000 |

| | |
|-------------|-----------|
| 必要経費(協会費ほか) | 1,200,000 |
| 高体連経費 | 120,000 |
| クラブコーチ謝金 | 510,000 |
| 合宿等援助 | 200,000 |
| クラブ系会議出席 | 150,000 |

| | |
|-------|---------|
| 文化祭援助 | 300,000 |
|-------|---------|

| | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--|---------|
| 英語弁論大会 | 15,000 | 60,000 | 30,000 | | 105,000 |
|--------|--------|--------|--------|--|---------|

| | | | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 合 計 | 3,780,000 | 5,870,000 | 3,918,000 | 1,415,800 | 14,983,800 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|

○米子高専振興協力会

(平成17年度)

| | |
|--------------|---------|
| プログラミングコンテスト | 200,000 |
| デザインコンペティション | 50,000 |

(8) 年間行事予定表

平成17年度 行事予定 (前期)

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1(金) | 1(日) | 1(木) | 1(金) | 1(月) | 1(木) |
| 2(土) | 2(月) | 2(木) | 2(土) | 2(火) | 2(金) |
| 3(日) | 3(火) | 3(金) | 3(日) | 3(水) | 3(土) |
| 4(月) | 4(水) | 4(土) | 4(月) | 4(木) | 4(日) |
| 5(火) | 5(木) | 5(日) | 5(火) | 5(金) | 5(月) |
| 6(水) | 6(金) | 6(月) | 6(水) | 6(土) | 6(火) |
| 7(木) | 7(土) | 7(火) | 7(木) | 7(日) | 7(水) |
| 8(金) | 8(日) | 8(木) | 8(金) | 8(月) | 8(木) |
| 9(土) | 9(月) | 9(木) | 9(土) | 9(火) | 9(金) |
| 10(日) | 10(火) | 10(金) | 10(日) | 10(水) | 10(土) |
| 11(月) | 11(水) | 11(土) | 11(月) | 11(木) | 11(日) |
| 12(火) | 12(木) | 12(日) | 12(火) | 12(金) | 12(月) |
| 13(水) | 13(金) | 13(月) | 13(水) | 13(土) | 13(火) |
| 14(木) | 14(土) | 14(火) | 14(木) | 14(日) | 14(水) |
| 15(金) | 15(日) | 15(木) | 15(金) | 15(月) | 15(木) |
| 16(土) | 16(月) | 16(木) | 16(土) | 16(火) | 16(金) |
| 17(日) | 17(火) | 17(金) | 17(日) | 17(水) | 17(土) |
| 18(月) | 18(水) | 18(土) | 18(月) | 18(木) | 18(日) |
| 19(火) | 19(木) | 19(日) | 19(火) | 19(金) | 19(月) |
| 20(水) | 20(金) | 20(月) | 20(水) | 20(土) | 20(火) |
| 21(木) | 21(土) | 21(火) | 21(木) | 21(日) | 21(水) |
| 22(金) | 22(日) | 22(木) | 22(金) | 22(月) | 22(木) |
| 23(土) | 23(月) | 23(木) | 23(土) | 23(火) | 23(金) |
| 24(日) | 24(火) | 24(金) | 24(日) | 24(水) | 24(土) |
| 25(月) | 25(水) | 25(土) | 25(月) | 25(木) | 25(日) |
| 26(火) | 26(木) | 26(日) | 26(火) | 26(金) | 26(月) |
| 27(水) | 27(金) | 27(月) | 27(水) | 27(土) | 27(火) |
| 28(木) | 28(土) | 28(火) | 28(木) | 28(日) | 28(水) |
| 29(金) | 29(月) | 29(木) | 29(金) | 29(月) | 29(木) |
| 30(土) | 30(火) | 30(金) | 30(土) | 30(火) | 30(金) |
| | 31(水) | | 31(日) | 31(水) | |

平成17年度 行事予定 (後期)

| 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1(土) | 1(火) | 1(木) | 1(日) | 1(木) | 1(木) |
| 2(日) | 2(水) | 2(金) | 2(月) | 2(木) | 2(木) |
| 3(月) | 3(木) | 3(土) | 3(火) | 3(金) | 3(金) |
| 4(火) | 4(金) | 4(日) | 4(水) | 4(土) | 4(土) |
| 5(水) | 5(土) | 5(月) | 5(木) | 5(日) | 5(日) |
| 6(木) | 6(日) | 6(火) | 6(金) | 6(月) | 6(月) |
| 7(金) | 7(月) | 7(水) | 7(土) | 7(火) | 7(火) |
| 8(土) | 8(火) | 8(木) | 8(日) | 8(木) | 8(木) |
| 9(日) | 9(水) | 9(金) | 9(月) | 9(木) | 9(木) |
| 10(月) | 10(木) | 10(土) | 10(火) | 10(金) | 10(金) |
| 11(火) | 11(金) | 11(日) | 11(水) | 11(土) | 11(土) |
| 12(水) | 12(土) | 12(月) | 12(木) | 12(日) | 12(日) |
| 13(木) | 13(日) | 13(火) | 13(金) | 13(月) | 13(月) |
| 14(金) | 14(月) | 14(水) | 14(土) | 14(火) | 14(火) |
| 15(土) | 15(火) | 15(木) | 15(日) | 15(木) | 15(木) |
| 16(日) | 16(水) | 16(金) | 16(月) | 16(金) | 16(金) |
| 17(月) | 17(木) | 17(土) | 17(火) | 17(土) | 17(土) |
| 18(火) | 18(金) | 18(日) | 18(水) | 18(日) | 18(日) |
| 19(水) | 19(土) | 19(月) | 19(木) | 19(月) | 19(月) |
| 20(木) | 20(日) | 20(火) | 20(金) | 20(火) | 20(火) |
| 21(金) | 21(月) | 21(水) | 21(土) | 21(水) | 21(水) |
| 22(土) | 22(火) | 22(木) | 22(日) | 22(木) | 22(木) |
| 23(日) | 23(水) | 23(金) | 23(月) | 23(金) | 23(金) |
| 24(月) | 24(木) | 24(土) | 24(火) | 24(土) | 24(土) |
| 25(火) | 25(金) | 25(日) | 25(水) | 25(日) | 25(日) |
| 26(水) | 26(土) | 26(月) | 26(木) | 26(月) | 26(月) |
| 27(木) | 27(日) | 27(火) | 27(金) | 27(火) | 27(火) |
| 28(金) | 28(月) | 28(水) | 28(土) | 28(水) | 28(水) |
| 29(土) | 29(火) | 29(木) | 29(日) | 29(木) | 29(木) |
| 30(日) | 30(水) | 30(金) | 30(月) | 30(金) | 30(金) |
| 31(月) | | 31(土) | 31(火) | | 31(金) |

(9) 米子工業高等専門学校寄宿舎規則

(趣旨)

第1条 この規則は、米子工業高等専門学校学則第46条第2項の規定に基づき、寄宿舎(以下「学寮」という。)の管理及び運営等について定める。

(設置目的)

第2条 学寮は、学生の修学に便宜を供与し、かつ、集団生活を通して、学生の教養を高め、社会の秩序と倫理を重んじる気風を養い、その人間形成を助長して教育目的の達成に資することを目的とする。

(学寮生活の基本)

第3条 学寮に入寮する学生(以下「寮生」という。)は、この規則及びこの規則に基づいて定められた諸規定を守り、相互に敬愛啓発して自己及び共同の生活の向上充実に努めなければならない。

(所管)

第4条 学寮の管理運営に関する事項は、校長の命を受けて、寮務主事が処理する。

(寮務主事等)

第5条 学寮の管理及び寮生の集団生活について、指導助言を行い、教育管理及び保健管理を行うため寮務主事及び寮務主事補を置く。

(寮務委員会)

第6条 学寮の管理運営に関する事項を調査審議するため、寮務委員会を置く。

2 寮務委員会の組織及び運営に必要な事項は、別に定める。

(入寮及び退寮)

第7条 自宅外通学者は、学寮に入寮することができる。ただし、特別な事情のある場合には、自宅通学者を入寮させることができない。

2 入寮の時期は、学年の始めを原則とする。

3 入寮を希望する者は、保証人連署の入寮願を提出して校長の許可を得なければならない。退寮するときもまた同じ。

4 疾病その他の理由により共同生活に適さないと認められた者は、入寮を許可しない。

5 寮生であって前項に該当し、又は学則、学生準則及びこの規則に違反した者は、退寮させることがある。

6 春季休業、夏季休業、冬季休業及び学年末休業期間中のみの退寮は、許可しない。

(寄宿料)

第8条 寄宿料の額は、国立学校における授業料その他の費用に関する省令(昭和36年文部省令第9号)の定めるところによる。

2 寄宿料は、学寮に入寮した日の属する月から退寮した日の属する月まで毎月その月の分を納付するものとする。ただし、休業期間中の分は、休業期間前に納付するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、寮生の申し出又は承諾があったときは、当該年度内に納付する寄宿料の額の総額の範囲内で、その申し出又は承諾に係る額を、その際納付することができるものとする。

(諸経費)

第9条 寮生の生活上必要な経費で、各自の負担すべきものは、別に定めるところにより納付するものとする。

(生活規律)

第10条 寮生は、別に定められた日課表に基づき行動しなければならない。ただし、特別の事情により日課表に基づく行動ができないときは、寮務主事の許可を受けなければならない。

2 日課表は、事情により寮務主事において変更することがある。

第11条 寮生が外泊しようとするときは、寮務主事の許可を受けなければならない。

第12条 寮生の学習、談話、食事、就寝等は定められた場所で行わなければならない。

第13条 寮生でない者が、宿泊、集会等のため学寮施設を利用することはできない。ただし、特別の理由がある場合は、寮務主事が許可することがある。

(防災安全)

第14条 寮生は、火災その他の災害の防止について、常時注意すると共に、学校の行う防火訓練その他の措置について協力しなければならない。

2 火気の使用は、指定の場所以外では行わない。

(保健衛生)

第15条 寮生は、各自健康の維持増進に留意するとともに学寮内の清潔に努めなければならない。

(施設、設備の使用)

第16条 学寮の施設、設備の使用については、別に定める。

(雑則)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、校長の許可を得て寮務主事が定める。

(10)寮の部屋構成

男子寮

| 高砂寮 | 寮名 | 形態 | 定員 | | 実員 | | 備考 |
|-----|----------|----------|----|-----|----|--------|---|
| | 西寮 | 3人部屋×33室 | 99 | | 88 | | 高砂寮長(2), 副寮長(2), 西寮寮長(2), 庶務(2), 製図室(3) |
| 南寮 | 1人部屋×25室 | 25 | 71 | 25 | 69 | 製図室(2) | |
| | 2人部屋×23室 | 46 | | 44 | | | |
| 新南寮 | 1人部屋×66室 | 66 | | 66 | | | |
| 東寮 | 1人部屋×15室 | 15 | | 15 | | | |
| 計 | | 251 | | 238 | | | |

女子寮

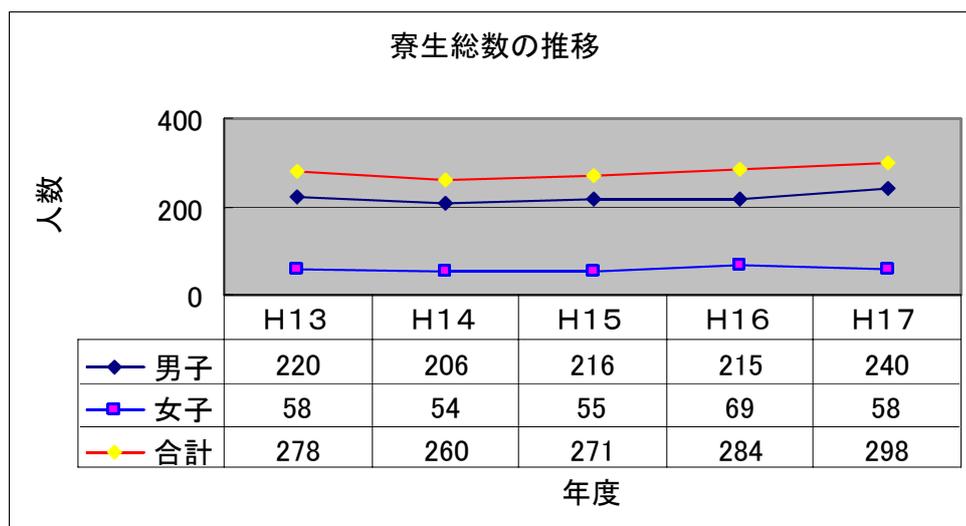
| 白鳥寮 | 寮名 | 形態 | 定員 | | 実員 | | 備考 |
|---------|----------|----------|----|----|----|-------------------|--------------------|
| | あさぎり寮 | 1人部屋×24室 | 24 | 36 | 24 | 34 | 白鳥寮長(1), あさぎり寮長(1) |
| 2人部屋×6室 | | 12 | 10 | | | | |
| ゆうぎり寮 | 1人部屋×7室 | 7 | 47 | 7 | 42 | ゆうぎり寮長(1), 談話室(4) | |
| | 2人部屋×20室 | 40 | | 35 | | | |
| 計 | | 83 | | 76 | | | |

(11) 寮生数とその推移

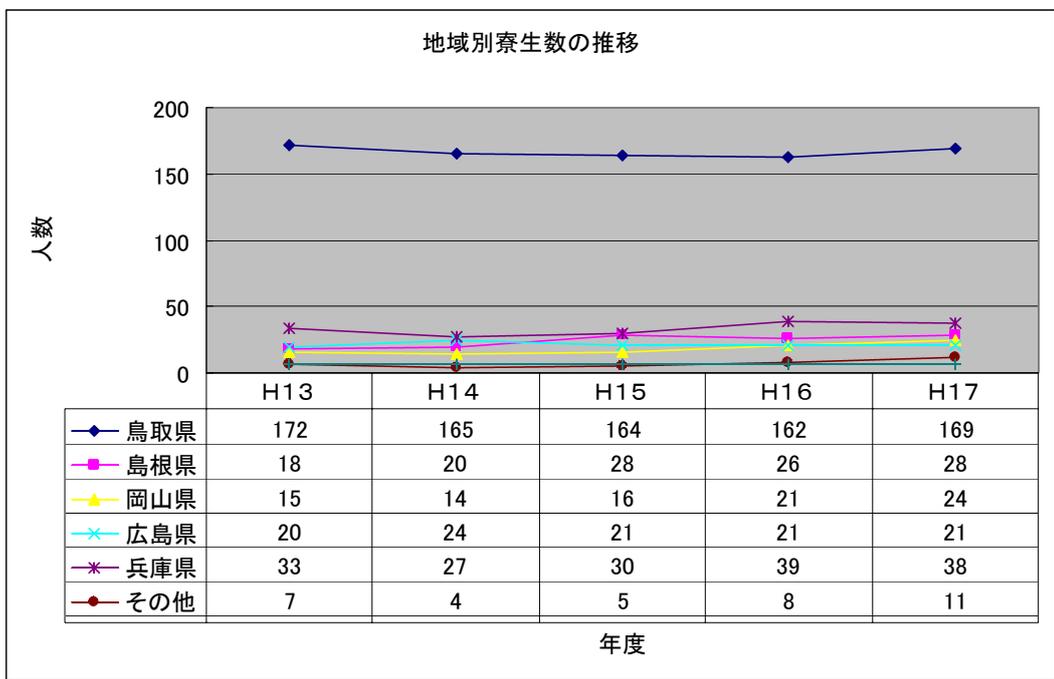
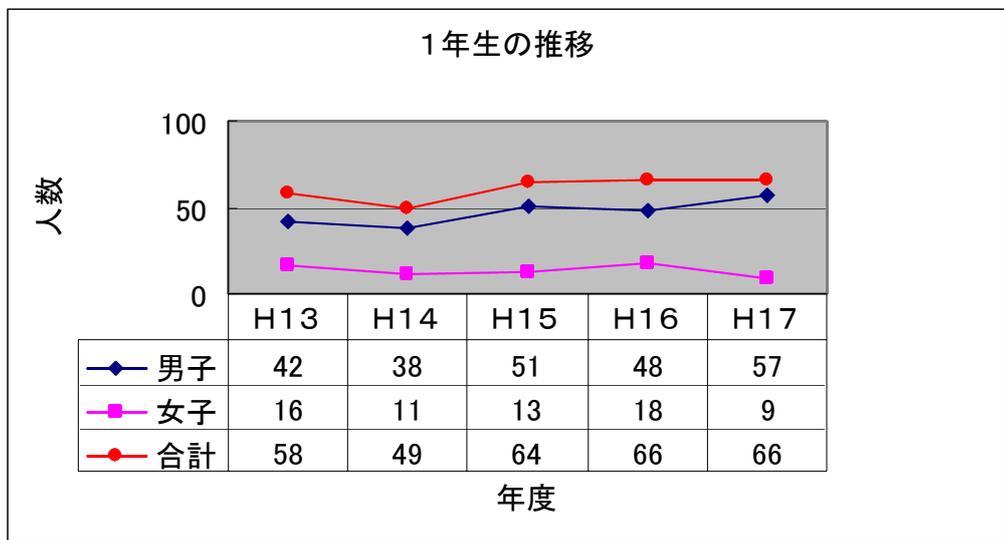
1) 現員

| H17年度 寮生現員 | | | 平成17年10月1日現在 ()は内数で留学生 | | | | | | | | | | |
|------------|-----|-----|----------------------------|----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年度途中の入退寮整數 | | | 留学生 | | | | 全寮生数 | | | | | | |
| 学年 | 入寮 | 退寮 | マレーシア | 2 | 5M,3M | 学年・学科 | M | E | D | C | A | 計 | |
| 1年生 | 1 | 6 | カンボジア | 1 | 5A | 1 | 13 | 13 | 15 | 6 | 14 | 61 | |
| 3年生 | | 1 | ヨロンビア | 1 | 5D | 2 | 11 | 18 | 10 | 6 | 18 | 63 | |
| 4年生 | | 1 | インドネシア | 1 | 4D | 3 | 18 | 5 | 7 | 10 | 19 | 59 | |
| 5年生 | | 1 | スリランカ | 1 | 3E | 4 | (1) | (1) | (1) | | | (3) | |
| 専攻科生 | | 1 | フィリピン | 1 | 3D | 5 | 9 | 9 | 12 | 10 | 13 | 53 | |
| | | | | | | | (1) | | (1) | | | (1) | |
| | | | | | | | 12 | 9 | 6 | 3 | 16 | 46 | |
| | | | | | | | (1) | | (1) | | (1) | (3) | |
| | | | | | | | 専攻科1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 |
| | | | | | | | 専攻科2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | | | | | | 計 | 68 | 54 | 50 | 36 | 81 | 289 |
| | | | | | | | | (2) | (1) | (3) | (1) | (7) | |
| 男子寮 | | | 女子寮 | | | | | | | | | | |
| 学年・学科 | M | E | D | C | A | 計 | 学年・学科 | M | E | D | C | A | 計 |
| 1 | 13 | 13 | 14 | 4 | 8 | 52 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 5 | 9 |
| 2 | 11 | 16 | 7 | 4 | 8 | 46 | 2 | 0 | 2 | 3 | 2 | 10 | 17 |
| 3 | 17 | 5 | 5 | 9 | 13 | 49 | 3 | 1 | 0 | 2 | 1 | 6 | 10 |
| | (1) | (1) | (1) | | | (3) | 4 | 0 | 1 | 1 | 3 | 4 | 9 |
| 4 | 9 | 8 | 11 | 7 | 9 | 44 | 5 | 0 | 0 | 1 | 3 | 7 | 11 |
| | | | (1) | | | (1) | | | | | | | |
| 5 | 12 | 9 | 5 | 0 | 9 | 35 | | | | | | | |
| | (1) | | (1) | | (1) | (3) | | | | | | | |
| 専攻科1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 | | | | | | | |
| 専攻科2 | 2 | | | | | 2 | | | | | | | |
| 計 | 67 | 51 | 42 | 25 | 48 | 233 | 計 | 1 | 3 | 8 | 12 | 32 | 56 |
| | (2) | (1) | (3) | | (1) | (7) | | | | | | | |

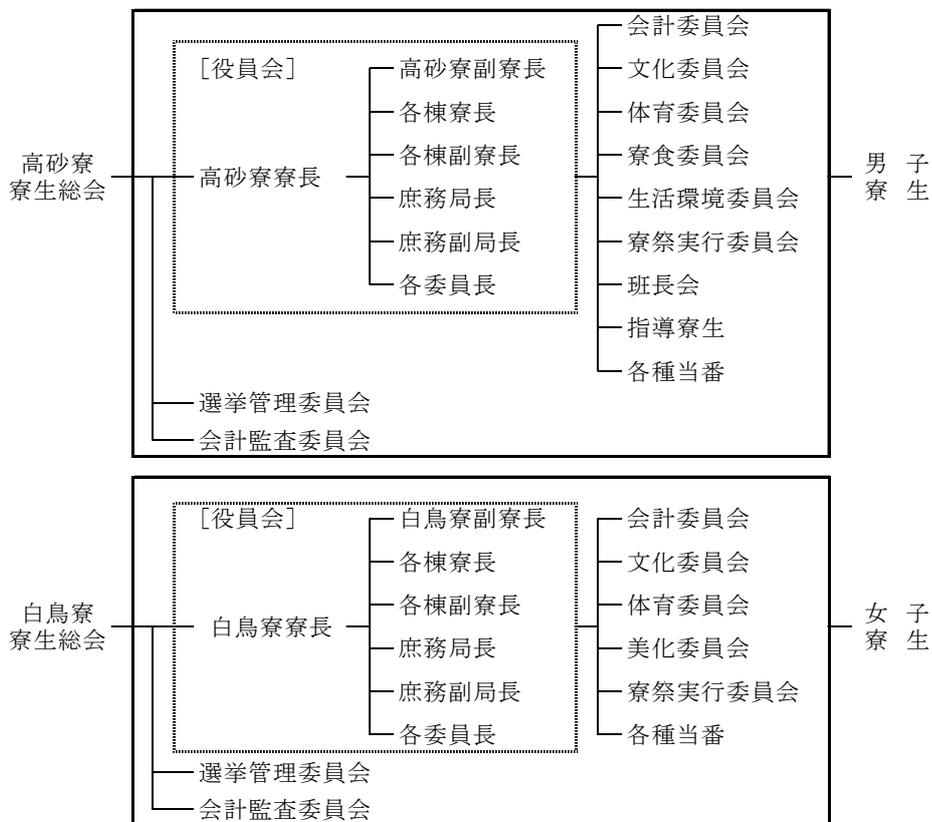
2) 推移 (*データは年度当初)



(11)寮生数とその推移



(12)寮生会運営組織図



(13)日課表

| 区分 | 時間 | | 摘要 |
|--------|---------------|-------|-----------------------------|
| 点呼* | 前期 7:30 | | 開始5分前に起床放送 白鳥寮の玄関開錠は7:30 |
| | 後期 7:40 | | |
| 洗面・清掃 | | | |
| 朝食 | 7:30~8:30 | | |
| 登校 | 8:35 | | |
| 昼食 | 12:15~13:00 | | |
| 自由時間 | 下校時から自習開始ま | | |
| 夕食 | 17:00~19:00 | | 延食者は20:00まで(4月~7 |
| 入浴 | 17:30~21:30 | | |
| 自習時間 | 前期20:30~23:00 | | |
| | 後期20:00~23:00 | | |
| 門限・点呼* | 女子 | 20:30 | 白鳥寮は、門限時間に玄関を施錠 |
| | 男子 | 22:00 | |
| 寮内自由時間 | 23:00~24:00 | | |
| 消灯・就寝 | 24:00 1~3年 | | 延灯は各棟寮長へ願い出る。 |

(14)寮の主な年間行事

| 月 | 学 寮 | 学 校 |
|-----------|---|---|
| 前期 | | |
| 4月 | 春季休業(特別開寮) 部屋替 役員研修会 寮生総会・地区別歓迎会 | (合宿・強化練習) 始業式・入学式 オリエンテーション オリエンテーション |
| 5月 | 球技大会 避難訓練 | 体育祭・対校江定期戦 遠足 |
| 6月 | 寮 祭 | 中間試験・球技大会 |
| 7月 | 寮生保護者懇談会 | 保護者懇談会・文化発表会 |
| 8月 | 夏季休業(7月～8月) (特別開寮) | 校外実習(4年) (合宿・強化練習) 中国地区高専体育大会 全国高専体育大会 |
| 9月 | 後期寮長選挙 栗島清掃 | 前期末試験 |
| 後期 | | |
| 10月 | 部屋替 役員研修会・寮生総会 ボランティア活動 | 校外研修(2年)・工場見学旅行(3年) 球技大会 |
| 11月 | 球技大会 | 文化祭 |
| 12月 | 避難訓練・クリスマス会・餅つき大会・予餞会 冬季休業(12月～1月) | 後期中間試験 |
| 1月 | 前期寮長選挙 | |
| 2月 | | 入学試験 |
| 3月 | 学年末休業 | 学年末試験・終業式・卒業式 (合宿・強化練習) |

この他・講演会・寮内掃除等を随時実施する。

(15)留学生支援行事

| 行事名 | 内 容 | 備 考 |
|-----------|--------------------------|-------------------------|
| 留学生交流会 | 中国地方の8高専の留学生を集めて交流会を実施 | 平成17年度より実施, 以降は3年に1度実実施 |
| 見学旅行 | 5年生の留学生を対象に日本国内の工場等を見学する | 毎年実施 |
| 国際交流学習の講師 | 小・中学校から依頼を受け・中学生に対して講演を行 | 年数回実施 |

(16)留学生の国別, 学科別受入数

○国別受入留学生の推移

| 受入年度 出身国 | 昭和61年～ 平成12年ま で | 平成13年 (2001年) | 平成14年 (2002年) | 平成15年 (2003年) | 平成16年 (2004年) | 平成17年 (2005年) | 計 |
|-------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----|
| マレーシア | 21 | | 1 | 1 | | 1 | 24 |
| 中華人民共和国 | 1 | | | | | | 1 |
| タイ | 2 | | | | | | 2 |
| フィリピン | 2 | | | | | 1 | 3 |
| バングラデシュ | 1 | | | | | | 1 |
| チュニジア | 1 | | | | | | 1 |
| カンボディア | 3 | | | 1 | | | 4 |
| モンゴル | 1 | | | | | | 1 |
| ケニア | 1 | | | | | | 1 |
| ラオス | 1 | | | | | | 1 |
| スリランカ | 0 | 1 | 1 | | | 1 | 3 |
| インドネシア | 0 | | 1 | | 1 | | 2 |
| コロンビア | 0 | | | 1 | | | 1 |
| 計 | 34 | 1 | 3 | 3 | 1 | 3 | 45 |

○学科別留学生数

| 受入年度 学科名 | 昭和61年～ 平成12年ま で | 平成13年(2 001年) | 平成14年(2 002年) | 平成15年(2 003年) | 平成16年(2 004年) | 平成17年(2 005年) | 計 |
|-------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----|
| 機械工学科 | 9 | | 1 | 1 | | 1 | 12 |
| 電気工学科 | 7 | | 1 | | | 1 | 9 |
| 電子制御工学科 | 7 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 11 |
| 物質工学科 | 3 | | | | | | 3 |
| 建築学科 | 8 | | 1 | 1 | | | 10 |
| 計 | 34 | 1 | 3 | 3 | 1 | 3 | 45 |